古義抄翼

863
5
187

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187

ガラス使用

松平直亮氏寄贈本

國立圖書館
昭和 24. 3. 29
寄贈

古義抄翼巻之三

論語

伊藤善韶 著

先進第十一

德行顔淵

集注ニ程子曰(ク)曾子傳道而不與焉故知十哲世俗
論也トコノ章四科ノ十人ハ夫子ニ陳蔡ニ従フ人ハカリナリソノ時曾子ハ
不従ヘヌナキコトニ見ヘタリシカルヲ曾子ハ不與トイヘハ言フニ不及ナリ
程説前後矛盾スルナリ。古義固ヨリ此四科孔門ノ弟子ヲ品定ス

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

レハアラス陳蔡ニ従フ衆ハカリノコトナリ曽子ナキハ不従ユヘナキナリ、
孔門ノ十哲ト定レルハ此章ニヨリテノ事ナルヘシ、俗説ニ始ルニシルヘシ、盍簪
録ニソノ説アリ考フヘシ

不間於其父母昆弟之言

間ハ離間トイフ事ニ古義韓詩外傳ヲ引ク、
間ハ離間トイフ中カ言ヲイフコト、古義ニ非ス故間言不行異母
同子ナキハ不従ユヘナキナリ、
関子異母兄弟ノ中ニアリテ誠孝ナル故、間言ノ行レ安キコトナキヲ尾ヨリソノ孝ヲ盡サル故
兄弟ノ中ハ間言ノ行レ安キコトナキ尾ヨリソノ孝ヲ盡サル故
不行ト関子ノ孝ヲホムルコト集注ニテハ父母兄弟称其孝友、
人皆信之無異辞ト解スコレニテハ関子ノ孝ヲホムルハ古義ト
同シケレ尾間ハ離ノ間ニアラスコトナラズトヨムヘシ内證テイフト、
外テイフトチガヒナリ同シコトイフコト

子哭之慟

コノ章集注ノ上ニテ異同三ヘス然レ尾大学ノ心不在焉云々ト云
ヲ以律スレハコノオハ夫子ノ放心ト云モノニ夫子ノ顔子ヲ重セラルルハ道
ヲ重スルユヘニ他人モ顔子ノ死ヲ聞ハ悼ノ尾夫子ノ慟スルホトニ
ハカルヘシソノ慟セラルルハ正ニ聖人ノ聖人タルユヘンニコレヲ以テ非
トセンヤ是則人情ノアル所ニ故ニ論語ノ書ヲ以大学ヲ非トスル
ナリ字義ニヲイテ非大学孔氏遺書弁ニ詳ニ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

門人厚葬之

古義字面ノ通リ顔子ノ門人厚ク葬リシト集注ニ云蓋顔路聽(十ニ)之ト新安陳氏云蓋疑辞以清車為椁観之疑顔路聽之也トコレ推量ノ説取ニ足ラス

非我也夫二三子也

集注歎不得如葬鯉之得宜以責門人也トコレ三ハ非我也夫二三子也トハ手前カナセシコト三テハアラス顔子ノ門人二三子ノ衆ノ所為ナリトカメラルヽコレ三テハ夫子ノ身ニケヲナシ玉フヽ左ヤウニハアルマシ古義此歎不得如葬鯉之得宜以責門人也トノ句ハ集注ト同シケレトソノ次ニ云言非我之所當為ト云ハ我ニハアラストハ我身不相応ト云ヿ夫二三子トハ二三ノ門人輩ノナスカ好キコヲ此方カナセシトカ自身ヲトカメラレテ鯉ヲ葬ノ宜ヲ得サシカサルヲ嘆セラルヽナリ

問事鬼神

集注云死者人之所必有不可不知皆切向也非原始而知所以生則必不能反終而知所以死蓋幽明始終初無二理但学之有序不可躐等程子曰晝夜者死生之道也知

生之道則知死之道盡事鬼之道死
生人鬼一而二二而一者也或言夫子不告子路不知此乃
所以深告之也ト云コノ意ハ人ニ事ルヲ得
スンバ夫子鬼神ト死トノ理ヲ
スイヾタ人ヲ知ラサレハ鬼ヲ知ルヿヲ得ス
重ネノ躐等ヲニハカニハ告ラレズト云フノコレニテハ大切ユヘ急ニ告聞サレ
サルナリ古義ニテハ未人ニ事ルヿアタハサレハナニトノ鬼ニ事ニヤ未生ヲ知
ルヿヲ得サレハナニトメ死ヲ知ルヿアランヤト子路ニ日用當務ヲ專ニセズ
ニテ不急ノ問ヲナスコヲシリソケラルヽ人ト生トヲ重ネノ鬼ト死ト
ヲシリソケラルヽ集注トハウラハラニ主意ハカハレド鬼神ト人トハ、

生ニ出生生存ノ二義アリ朱注ハ出生ヲ云ルノナリ古義ハ生存ナトイヘハ存生中ノ人ノ名ニ於ノ字
朱注ハ死ノ理ナリ古義ハ死ニテハトウルヒトヽ云フヽ

集注古義同ニ生死ハ集注ニテハ死生ノ理ヲ推スヿニ古義ハ生生
存ノ道ナリ此章異同ノ委曲ハ訓幼字義ニ詳ナリ今ヿヽニ畧ス

子樂

集注ニ一説乐ハ曰字ノ誤カトルヿ子曰若由也云々ト叫ラヽヽ古義
ハコノ説ハ取ラズ

不得死然

古義ニテモ集注ニテモソノ死ヲ不得ヿ然リトヨムカヨロシ集注ニテハ夫
子子路ノ未々ノコヲ見通シタルコトヽス故ニ衛ニ死スルノ応ヲ叫ラヽ古
義ノ旨ハタトヒ子路一生命ヲ全セラルヽ氣象ソノ死ヲ不得ヿ

アルヲイフ、強テリノ応ヲ求ルニアラズ

升堂入於室（矣未）

古義ニテハ、升堂トハ学徳高明正大ノ場ニイタルヲイフ、入室トハ、又ソノ上ヌケ〳〵テ、後客自得ノ場ニイタルヲイフ、集注、高明正大ノ注ハ同ジケレド、入室ハ精微ノ奥ト注ス一通リ字面ニテイヘバサシテ異ナシトカ元集注ニテ精微トイヘバ無極太極等ノ一理玄妙ノ場ニアラズ

賜不受命

集注ニ云、此子貢以時事、至聞性與天道、則不為此矣ト、此ハ性天ノ章ヲ、理ノ高幼ヲ聞キ ウルコトヌソレ故コノ章ノコトクアルハソレヨリ以前ノコトヌルヲ古義ニテハカヤウニ説ニアラズヤハリ両章ヒ、一生ノ上ニ就テノコトニテイヒヲ前後トヌニモ及ハヌ之ヲ集注圏外ニ范氏ノ説ヲ引テ其言而多中者億而已非窮理乎天者也、子嘗曰賜不幸言而中、是使賜多言也、聖人之不貴言也如是トコノ旨ハ中トイフヲ言ハノ上ノコトヽシテ不好事トスイヒニシコノ後ニヒシトアフトイフコトソレ故質殖ト億ハ中トニツヒ夫子ノ子貢ヲソシラルヽコトヽミル、本説トハチカフ、集注ノ本説モ古義モ中トイフハ、億ハリヨウケンノ道理ニ的中スルヲイフ、一抑一揚ノ玉フ

ナリ貞殖ハ貶セラレ億ハ中ルハホメラルルニソシルニ非ス集注ニ才
識之明ト解スル言語ハカリヲ言ヒ又ソシルニアラサル知ルヘシ

善人之道

善人之道トハ善人タルモノ、道トスル所ヲ云子張名聞ヲ好ム
故ニ如此ヲヲ問ル集注所引程張二氏ノ説ニハ善人ノ人トナリ
ヲイフ○又集注張氏曰善人敬仁而未志於学者也云ト
コハ孟子ノ可欲謂之善トイフヲヨリ解スルナルヘシ可欲トイフハ人ノ慕ヒオモフ人カラヲイフ
仁ヲ欲スルニ孟子ノ可欲トイフヲ仁ヲ欲ルノ故ニハアラス既ニ孟子ノ本文ニアハス又此章ニ引テモソムケリ

由何敢死

ヲノ章敢ノ字古来不敢果トニ説アリ蒙引ニハ不敢ノ一トス、
コレハ何敢死ト三字ツヽケニハ、ナルホトト不敢トイフヘシ然ル敢死トダ
ニ字ニルヽ寸ハ果敢ノ一ナリ謝氏果敢トス此ニ従フヘシ一章ヲヒシ
ハ不敢ニ一字ヲヒシハ果敢トイフヘシソノ説上ノ断ナリ○又此章
集注ニ胡氏ノ説ヲ引テ曰卽夫子不幸而遇難固必捐生以
赴之矣捐生以赴之幸而不死則必上告天子下告方伯
請討以復讎不但已也トコレハ春秋胡傳ヨリ引ケリ先人弁
疑錄ニヲノ説ヲ駁スルヿ詳シ此時周未天子微弱方伯ニ古

ノ方伯ニアラス、此方ニテ今時イヘハ、昔ノ山城守ヘ行テ公事ヲ
理スルカ如シ、迂遠ノ甚時ノ勢ヲ知サル説トイフヘシ

藏父與君

此一節ハ由求ノ二子、君ヲ捨スホトノ徳ハナケレモ、大節ハカツテ
不失、ソノ処ヲ保シ、且季氏不臣ノ心ヲ折玉フヘシ、集注モ本説
ハコレニ同シ、圏外所引尹氏説ニ曰、故曰我父與君、志不從
也、其庶乎二子可免矣ト、此説ヤヽ異ナレトコレハモシ夫子ノコトハ
無ケレ二子季氏ニ汚穢セラレ、乱賊ノ黨ニイル故ニ夫子然ニ告
テ、二子ヲ救フトスルニ由求ヲ甚シトシテニレタリ、本説ニ從フヘシ

吾與點

曽點ノ志ヲイフハ三子トハ各別ニ違ヒテ古堯舜ノ世風ヲ
乐ム意アリ、天氣ヨキ時分人ヲ多ク伴ヒ野外ニ出心カリナリ、
終日乐ヒヨヒ願フヒヨヒ乱世ニテキ不ズ
モナキ時節ナラサレハナラヌコトナリ、コレヲ乐ム固ヨリヨキコトナレ然ニ
世ヲケヤウニ治ムルハ皆ノ力ニアラス、三子ノ言ヲ所ハ皆力
ノ及ヲ処ニカノ不及処ヲ高尚ニ志ス故ニ論語ニ古之人或ハ狂
者トイフ、狂ハ心疾ノ人ノ、吾身ヲ不知如ク、自身ノ分不相応ノ
事ヲ志ス故ニ古義ノ旨別ニ深義アルニアラス、大意上ノ通リナリ、

二高妙ノ理

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187　ガラス使用

集注ニテハ曽哲ノ志ス所ハ甚高妙ノ事ニシ云曽點之学蓋有
以見夫人欲盡処天理流行隨処充滿無少欠闕故其動
静之際従容如此而其言志則又不過即其所居之位乐
其日用之常初無舎己為人之意而其胸次悠然直與天
地萬物上下同流各得其所之妙隠然自見於言外視三
子規々於事為之末者其氣象不侔矣トコノ趣(ワケ)ハ天理流
行ノ妙ヲミルコアリテ理ノ自然ノ場ニイタルトスルコト夫子ノ旨トハ
大ニチカヘリ故又曰孔子與點蓋與聖人之志同トアリ一理ノ
妙ヲミル場ニイタルテ夫子ト大カイハ同シトイフコト又曰曽點漆
彫開已見大意ト曽點ノ天理流行ノ妙ヲシラルハ此章ニ就テ
イヒ漆彫開ノ大意ヲミルト云ハ公冶長篇ノ仕ヘシメントスルノ章
斯ヲトハコノ理ヲサシテイヒテ大方ハ理ヲシレ共未信スルコアタハスト
云ニ就テイフ○集注ニ又曰浴沂詠帰ハタラヒテソ(水ヲ)キツカフコト上已ノ節
後除スルテ古ヨリアリ暮春ト云ユヘニソレヲ引共然トモ
後世ノ端牛ニ蘭湯ニ沐ス云カコトシ莫ノ章ハヤハリ下ノ温泉ニ浴ス云ト云カヨクアタレルナリ

唯求則非邦也

コノ一句并ニ下ノ唯赤則非邦也ヲ集注ニテハ曽點尚ノ辞トス子

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

路ハ哂玉ノ氏、求モ赤モイヒ分ハ國トハイハヌ氏、國デハゴサラヌカト問カケルノ、安見云々宗廟會同云々シ、夫子ノ答トスルノ古義ハ古注ニ從ヒ唯求則、唯赤則二段ニ上下連續メ皆 夫子ノコトハナリ、求ト赤トノイヒ分、皆國ニテハナキカ、安見云々非邦也ト應シ宗廟會同云々誰能為之大ト應ス皆夫子ノ語ナリ

顔淵第十二

克己復禮

此章、克己トハワカ我意ヲハラスニ人ニ後ノイヒ、克ハ克去ルノ義ニ礼ヲ復ストハ復ハ反復丁寧ノ意イクタビモ篤ヲ付テ、礼儀ノカヲ

ニシヒヌヤウニスルノカノ如ク（ニテ）ヒロク人ヲ愛シ又禮ヲ以節文スルハ、事ニ差別モアリ又直徑ナル失モナキ故仁道行ハルノ集注ノ説ハ甚殊ナリ云ヒ謂身之私欲也、禮者天理之節文也トコレニテハ克己トイフハワカ身ニアル所ノ物欲悪念ナリコレヲ克チ去テ無クスルノ礼ハワカ心ニ具ル所ノ天理ノ性ノコレニ復ルトイフハ、天理ノ性ヲ物欲ニ蔽サルヲ本ノ明ニ復スルナリ復初ノイヒニテ古義ニカヘルトヨム集注ニテハ礼ニカヘルツツフストヨム集注ノ節文トイフハ性ノ上ノ節文ナリ事ノ上ニ非スコノ通ニテハ人ノ為ニスル仁徳ニハアラス我カ身ノ悪ヲコラス法シ為仁由己ノ段集

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

注ニ云為仁者所以全其心之徳也蓋心之全徳莫非天理而忘不能不壊於人欲故為仁者必有以勝私欲而復於礼則事皆天理而本心之徳復全於我矣ト云ノ説旨ハ仁ニナルトハカ本心ノ理ヲ全スルハ即仁ナリ心ノ徳ハ三ナ天理ナレ共人欲ニヤブラレテアシクナルソレ故仁ヲ為ルトハ私欲ニ勝テ天理ニ復スルコトソノ私欲尽テ事ニナ天理ナルハ本心ノ徳全リメ仁ト云モノソト云コト

天下帰仁

天下帰仁ト八天下ノ人皆慈愛隣啓ノ徳ニ心服スルヲ云集注ニハ帰猶與也天下之人皆與其仁ト解ス與ヲアタフトヨム天下ノ人皆ツノ仁タルヲヲ云ヒアタフルヲ又曰日々克之不以為難則私欲浄盡天理流行而仁不可勝用矣ト云解ヲ通リノ意ニテ日々私欲ニ勝去テソ欲ツノルヲ寸八本心明堂ニテ天理ノ善顕ハレ仁ノ徳勝テ用ユヘカラストヲ云ヒ又曰程子曰非礼處便是私意既是私意如何得仁須是克尽己私皆帰於礼方始是仁トコロヲ上ノ意ヲ以テ云ヒ又曰克己復禮則事々皆仁故曰天下帰仁トコロル事々ノ字ヲ以テ天下字ニ貼ノ説萬事ミナ仁ニ落着スルヲ云ナリ呂與叔云洞然八荒皆在我圃ト揚亀山ニ云天下皆在吾之度内ト此イハ

己存想ト云モノニテ心ノ思ニナシナリ、物我ノワカチナリ、天下ヲワカ
胸中ニ含イルニテナリ、程子又曰、一日克己復礼則天下称其仁
ト、集注是ニヨリテ、曰帰猶與也ト云リ、天下ノ人ソノ仁ヲ称美シ
與スルナリ、與奪ノ與ノ意ノコトシ、コノ三説、吹リカハリアレドモ、顔
子一身上ニ在テ云、邢昺疏云言人君若能一日行克己復礼
則天下皆帰此仁徳之君也ト、コレ人主ノ上ニツイテ、人ノ仁徳ニ帰服ス
ヲ云ナリ、古義云ク、顔子陋巷ニ在トイヘドモ、王佐ノオナリ、故ニ天
下ニ仁ヲノ道ヲ告ケ、天下帰仁ノ玉フ、天下ノ人仁徳ニ帰服スルナリ、邢氏帰仁ノ解ハヨロシケレド、人主ニ就テ云ヘル、取合スコトナリ、帰仁

ト云ハ、孟子ニモ民之帰仁也、猶水之就下、獣之走壙也トアリ（此句ヲ下ニテ）
仁徳ニ服スルヲカヒモナキコトナリ（孟子ノ語最証トスベシ、先儒ノ解
甚高遠ニメ、必顔子身上ニ就テ解セラルニヨリテ、如此注アリ○
謝氏曰、克己須徹根源、性偏難克、毫発不尽、
ミナ吾身一分ノ心ノ徳ノ初メ明カナルヲ、一度私欲ニクラマサルヲ（クラシ）
ソノ歓ヲ勝去リ、天理ノ節文ヲトリカヘスレバ、本心ノ仁徳行ハ
レテ、天下ノ人仁タルコヲ許スト云ヘリ、（惣ノ）宋儒ノ旨ハ悪ヲコラス
コヲ主意トス、此章モソノ旨ニ、聖人ノ道ハ善ヲ勧ルヲ主
トス、古義ノ旨ニテハ、善ヲ勧ルヲナリ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187　ガラス使用

非禮勿視

非礼勿視聽言動ト云ハ、礼テナキコハ視ルナキリナイフナト云フ、タトヘハ曲類ヲ一目ミルハ軽シソレヲ衆ヲ付テ聴ハ重シ自身ソレヲイヘハ又重シ、吾身ソ事ヲナシ行ヘハ甚シキコナリ、左ヤウノコヲスルナト云フ、非礼ヲ履ハ齊明盛服非礼不動ト云ノコヲ聞夫子之言所以脩身也ト云ト同シキ意ニ、集注ニ云顔子聞夫子之言則於天理人欲之際、已判然矣トコノ寸顔子天理ノ善ヲ復ノ本心ノ仁ヲ明ニスルト人欲ニクラマサルトノコト、夫子ノ示ヲリテ、明白ニナルト云フ、非礼ヲ集注ニテハ已之私ト解ス非礼トハキテ、私欲ノコトニテハ勿ノ視ニ非礼ヲ云ヤトイフヘシソレハ非礼勿ートハイヒガタシ、古義ニテハ礼ニアラサルハトヨム集注ノ意ハ非礼ヲシースルナカレト云意ニ、又曰、是人心之所以為主而勝私復禮之機也、私勝則動容周旋無不中礼而日用之間莫非天理之流行トソノ非礼私欲ヲ視聴言動ノ上ニナキヤウニ、欲ヲフセソノ法ニ、欲ヲフセキ尽セハ心ノ徳行レテ日用ノ間皆天理ノ流行ニ、天理ノ流行ナレハ仁ニ、トヨヨコト云コト私勝トハ私ヲカチ去ルコト私欲カ勝ニハアラズ又曰、顔子默識其理トコハ顔子ノ請事斯語トウケテレソレハ理ノ然ルユヘニソ默識心通ノサトラレ

名ト云ヘル、曾子ノ一貫ノ旨ヲ、領掌セラルニヨリ解ケト同シコトニテハ、禅子ノ投梯悟道ノヤウナルコトニテ、聖門ノ教ニハケヤウノ旨ハアルマシキヲ、清事斯語トアルハ、顔子道ニ熟スル上、夫子ノ教ヲ承テ、我任トノ力ノタユルコヲ知リ、コレヨリコノ條目ヲ自ラ仁ノ道ヲ行ハント任トセント力受ラルル○程子視箴曰心兮本虚応物無迹云々視為之則ト本文ノ視トイフハ、礼ニアラサルヲミナト云ヘル、ミルモ心ナレハ心ノ教ニアラス程子ハ視聴言動四ツニ心ヲ主トメ云心ヲオサムルノミヲ、虚霊ナルモノトソレヲミタレサルヤウニスルハ、視ヲ以テ定本ニ違ヌヤウニスルトイヘルハ、又動箴曰哲人知幾誠之於思ト本文ノ動トイフハ身ノ動作ヲ礼ニ非サレハセヌヲ云ヘル、聖賢ハ毎々動ノ上ニ就テ、工ヲ用ルヲ多シ、視聴ノ思ヒニ推スヲニハアラズ知幾ト云ハ易ノ幾ハ動ノ微トイフヨリノナルヘシ、然レハ幾ヲミルヲハ、聖人ノ意ニ非スト云ヘルハ、ソノ動ハ礼ヲ以スルヲ云ヘル、思ニ誠ニスルトイフモ、心ノ上ニテノエトスルヲヘミテ夫子ノ玉ハヌ所ナリ、古ノ学ト後儒ノ所脩ノ異ナル所自ラシルヘシ

出門如見

此章、出門使民ノ二句ハソノ事ヲ大事ニカケテソノヤウナキヤウ

ニスルコト古義モ敬ノコトナレ𪜈然𪜈タ、敬ヲイフニアラス、集注ニテハ、敬以持己トアリテ、敬ノ字ハ同シケレ𪜈、持己トイヘハワカ心ヲ持
敬主靜スルコト、持敬ヲ以テ、己ヲ持シ怨ヲ以テ、物ニ及ストキ敬
怨ノ二ツヲ、己ト物トニ分貼メトクノ、又曰、私意無所容而徳
全矣ト、此ワカ持敬ノ工夫積ハ心徳虛靈ナル故、仁ニナルトイフ
コトヽ、コレモ上章、克己ノ意ト同シク、一己ノ思ヲセンテ己一身ノ
徳ヲナスコト、古義ニテハ、事ヲ大事ニカケ、踈畧ナキヤウニスルハ人
ノ為ニナル故、仁ヲ行フノ方ナリ、己所不欲勿施於人トハコノコトバガ
直ニ怨ニハアラス、怨以後ノ工夫ニ、仁ヲ求ル方ヲイフ、集注ニテ
ハ、己所不欲云々ヲ、直ニ怨トスルカハ怨ヲ釈スルコトハヽ、在邦無怨
在家無怨トハ、怨ナキハ徳ニ、敬怨ヲ脩為スレハ、仁道行ハレテ
人ヨリ怨ヲ取ラズ、仁ノ驗ヲイフ、程子ノ説ニ、唯愼獨便是守
之之法トコレヌ持敬ノ意ニテ、本文ノ敬ノ趣トハコトナリ、集注或
問出門使民之時如此可也、未出門使民之時如之何、曰、此
儼若思時也、有法中而後見於外、觀其出門使民之時
其敬如此、則前乎此者、敬可知矣、非因出門使民然後
有此敬也トコレハ出門使民ヲ敬行ルヽ𪜈ソノ事ナキヲイ
カヽノ行ルヘキヤトノ疑ヒニ、程子ノ旨ハ畢竟敬ハ我カ心ヲ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187　ガラス使用

守ル法ニ、ソレ故常々守テイルコト、出門使民ヲ承ノ門ヲ心ノ敬事ニアラハル、事ニアタリテモ充ヤウナリテモ、心ノ上ニカハルコトハナキヿ、古義ノ旨ニテハ、此章モト一己ノ心術ノコトニ非ス、人ニ接スル上ノコト、出門使民以前ノ工夫ヲ吟味スルニハ不及、拘克己復礼軌道也、主敬行恕坤道也、顔冉之学、其高下淺深於此可見、然学者誠能従事於敬恕之間而有得焉、庶幾乾道ニ配シ、主敬行恕ヲ坤道ニ配スルハ、大ニ本文ノ旨ニアラス、コレヲ以テ顔冉ノ高下ヲニラルル顔冉固ヨリ徳ノ浅深モアルヘキナレ共、夫子ノ答ハ皆尚ク人ノ材ニ任セテ道ヒキ玉フ顔冉ニ于高才ナル故天下ノ仁スルノ道ヲ示サレイツレモ人ノ為ニスル仁道ニ、朱子ノ意ハ上ニ章及此章、ヲ自己自上ノコト、私欲ニカツト持敬トノコト上章ハ顔子ヘ示サレタヘ重ク此章ハソレヨリハ次ノ教ト云ヘシ今日ノ学者敬恕ヨリ入テ道ヲ得ヘシト云ヘルハ己ヲ勝ツ去ルニ及ハ、ト云方ニツニノイフソノ異同上ニ辨スル通リナリ

仁者其言也難

コノ章言ヲ難スト云ヒタリ云不言ヲ人ノ言ヲ容易ニスヘテ約束ニチカヒ踈漏アリテ決メ失多キモノニケヤウノ軽率ノ人ハ不仁者トイフニハアラサレトモ仁ノ道ニハ叶ハス又言ハノ通リニ行ヒ分キカタキモノニ夕、モノヲイハヌガ仁トイフニハ非ス心治リテアルハ自ラ存故事不苟事々不苟故其言自有不得而易者トコノ意ハ仁ハ心ノ徳ナリ心ノ徳全ク虚明ナルハ自ラ言ハスクナシトニテナリ言ヲ慎ニモアラス又言行相顧ルニモアラス夕、心理ノ上、明ナルハ自ラ言寡クナリテ忍テ不言ニアラスト畢竟心ヲ明ニセヨトニ云教ナリ

君子不憂不懼

仁者不憂勇者不惧トアルカラハ不憂不惧ハ仁ト勇トノ徳ナリ此ヲ以君子ヲ問ニ答ヘラル天下萬世カルヘキ教ニ集注ニ云向魋作乱牛常憂惧故夫子告之以此トアレニテハ司馬牛ヘ對ノ時ニトリテ問ニツキテノ教ニ集注ヲノ意ハ下章ニヨリテ云々スルトニヘタリ

人皆有兄弟

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

左傳哀公十四年云々スルハ宋ノ司馬牛ト兄弟五人アリ左傳ニ詳シ鄭氏以来コレト同人トス故集注ニ云牛有兄弟而云然者憂其為乱而將死也ト兄弟アレ共ホトナク乱死スヘキ故ナキト同シト思フテ憂トスト云ヘリ古義云々同時同姓名ノ人ニテ左氏ニアル所ト別ニ一人ト云コトハニテ直ニソノ証據ト古義注ノ意ハ左傳ニアル司馬牛ヲ杜注ニ爲雖弟トス此章無兄弟トアルハ左傳ノトハ別ニテ又單子ヲ明ヤシ家語弟子解ニ司馬牛ヲ桓魋弟トヤリ是ハ左氏ニヨリテ誤レルトスルヘシト云ヘリ孔門ノ司馬牛（ヲ是トスルヘシ）ト云ヘリ宋ニアルニ引ツニテラス

死生有命

命ハソノ時ニアタリテ行アフ所ノ幸不幸ヲイフ集注ニハ命稟於有生之初非今所能移ト人ノ一生ノ幸不幸定リヤリテ後ニ改ニモウツシカハルフハナシトコニテハ仕合スル者ハ何程悪ヲナスモ仕合ヨク積ミ善ヲナストモ無益ノ事ト云道理ナリ（ミノ）不仕合ナルモノハ何ホト徳ヲ積トテモ不仕合ニアフトテコソ左ニハ畢竟学問ヲシテ徳ヲ

ニ詳シクユヘニソノ大旨ヲ解スルノミ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

敬而無失

敬ハ事ヲ大切ニシテ、大事ニスルコト親ヲ敬ス天ヲ敬スナト、イフ通リニタヽ敬ヲイフコハナシ、上ニ弁スルト同シ無失トハ、シソコナヒノナキコト、集注ニハ持己以敬、而不間断トイフ、敬ハ持敬主静ノコトニテ心ヲ正スルコト、無失トハリノ持敬ノタヘマノナキコト、又古義ニハ司馬牛ヨリ徧ヲ脩テ、四海ノ内ヲ兄弟ノコトリスルナリ、集注ニテハ徧ヲ脩ルハ四海ノ人カ皆牛ヲ兄弟トスルナリ、集注又云蓋子夏欲以寛牛之憂、而為是不得已之辞、讀者不以辞害意可也、胡氏曰、特以廣司馬牛之意々圓而語滞者也トコレハ四海ノ内ミナ兄弟也ノ語ヲ、不得已先ノ人ノ意ヲエリ出ル為ニ云々スルトミルベシ、古義ニテハヤハリイツレノ人イツトテモコノ通ノコトニテ、即道ニ是非ナリ意ヲ出ルハカリニハアラス

民信之矣

集注ニ云民信於我不離叛也トイヘリ信ノ字ヲ解スルニ二意ヲカヌ、一ハ民ガ我ヲ信スルニ、一ハ民ノ信ヲ我ニ失ハヌニ、本文云々スルハ、民ヲ信ヲ以テ、教ヘ導リコトニ下文ニ云民無信不立トアルハ、信ハコレ人ノ道、コレヲ以教化ニ集注ノ

通リニテハ足食足兵二条ノコトナリ民信之ハソノ効ヲトリ然ル
ハ子貢ノ再問斯三者トイフ〳〵カラス是ヨリテシル食兵信本ヨリ
三項ノウチ〇集注又曰信本人之所固有ト仁義礼智信ヲ
心ニ備ル徳トスルユヘナリ信ハコレ一徳ヤハリ忠信ノ信ナリ

夫子之説君子也

夫子トハ子成ヲサス子成カ君子ノ道ヲ説ハ不當一度言ハヤ
シカルヘキモ駟馬ノ卑キモ追カヘサヌモノト君子ノ道ノ説ヤウノ失
ヲ惜ムヘキ夫子之説君子ヲトヨミテ説ノ字下ニ属スル集注ニ
ハ夫子之説ハ〻也トヨム説ノ字ノ下句ヘ云子成之言乃君子

之意ト解スル子成ノトリ所ハ本質ヲ崇フハ君子ノ道ナリトホム
ルヘキ駟不及舌トハ軽々シクイヒ出セハトリカヘサレヌモノト言ハヲ昂
キニ失スルヲ惜ムトス又言語ヲ君子トイフモアタラサルフシ

文猶質也

古義云文質両者不可相無ト又曰所謂文者謂文質適
均之文非對質之文也ト質ハカリニテハ君子野人ノ分チモナシ
文ト質ト両方トモニナクテハナラヌモノヽ此処ニ文ヲ質々ヲ文ト
イハヽ文質適均ヲ文ヲイフトハ適均トイヘハ事ニヨリテハ文多ク
質少クトモソノ礼宜キヲハ文多シトモソノ礼宜

下ヘ入ル
(文)—(質)
古義適均図

(文)
—等耳
(質)
集注對質図

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

キ末文サレタリソノ程宜キ所ヲサシテイフ質ニ對スル文トイヘハ、
物ノコト半分ワケニナリテ質ト對シ合フ上イフニ集注ニハ云文
質等耳不可相無トコノ意ハ文ト質トハ一ツノコトニ質アレハ文ア
リ文アレハ必質アリ両方ヒ無ニハアラス古義ノ意ハ文質
ソ恰好相應スルヲイフ集注ノ意ニテハ文質同等ノ物相須
トスルニ(云フ)又集注云子貢矯子成之弊又無本末軽重之差胥
失之矣ト文猶質云々文質ハ彬々(夫子ノ)章ト同シ趣ニシカルニコノ章
ハ子貢ノ言ハ故子成ノイヒ分ハ質ニソレテ固ヨリ不宜子貢ソノ
失ヲタタテ質ヲ本トセス文質相等リイフ此ヒ失ニ本末軽
重トイヘハ文ハ末軽ニ質ハ本重シトイフヲ然ヒ夫子既ニ文質
彬々トノ玉ヘハ子貢ノイヒ分失アルニヤアラズ子貢ノ言ハ故先儒ヲ
ヤウニミラルヽナリ(軽ノ)扨テ此章ニカキラス論語中弟子ノ語ハ朱注
常ニ不滿ノ意多シコレハ非ニ夫子ノ語ト同シク編スルカラハ夫
子ノ語同前ニ別テミルヘキニアラス

蓋徹乎

徹ハ通ニ夏殷二代ノ法ヲ通用メ都鄙ノ遠キ(遠)地ニハ殷助
法ヲ用ヒ鄉遂ノ遠キ(近)地ニハ夏ノ貢法ヲ用ルヲイフ集注ニ
テハ通ニト注スレヒ通力合作計数均收ト注ノ井田ハ人ノ力

(十餘ヘ上ノ岡ハル)

ヲ通用シテ作ルコトモシ集注ノ通リナレハ人家ノ貧富差別
ナシシカレモ上農夫下農夫ノ別アレハ務次第ニテソノ貧富
アルコトシルヘシ

餧欲其生

此章生死ノ命ハ天ニヨルヲ人カノ短長スルニ非スシカルヲ人ヲ愛
悪スルニヨリテ人ヲ生ヲ欲シ死ヲ欲ス愛スル上ニテ既ニソノ生ヲ
欲シタルヲ又ソノ死ヲ欲シトイヘモ叶ハス惑ヨワカツトイフモノニ付ズスヘテケヤウノ類ハ
皆惑トイヘモノニコレ等ノ事ヲ弁スルカ
ユヘ集注ニテハ愛之欲其生悪之欲其死トイヘヲ解スル古義

ニイフト同シ意ニ然トモコノ句ニテ惑ヲ含ムヿ既欲其死
欲其死是惑也トイヘ句ヲ既欲其生又欲其死則惑之甚
也ト注スルニテハ天命ノアル所ヲ愛悪ニテナラヌ所ヲ愛悪ニテ
生死ヲ欲スルコレ惑ナルニソノ上又生ヲ欲シ死ヲ欲シ一定セヌハ
惑ノ益甚シトイフヘキ甚ノ字ニテ本文ヨリハ一層深クミル
ヘシ然トモ既トイヘカケテ是惑ニト結ニテ上ヲ覆祝ノ一段深
クスルニアラズメ上ノ如ケテ断スルコトヲ結スルヘシ

誠不以富

集注ノ本説ハ上文ヲ結テ惑ノ一ニ貼スル一説ハ錯簡ナリトイヘコノ説

宜シ、程說ノ古義ニシニ從フ

片言可以折獄

此章ハ二人爭論アルヲ、聽(双方)テ、理非ヲ定メラルト云フニ、相手ニワケ分レテ、善悪ヲ斷スルノミニハ難キフルニ子路ハ明決果斷ニテ、能ク訟ル者ノ半ニ(片言)ヲ聽テ、理非ヲ定ラルト云フニ、相手ノ全言ヲ一タヽス半ニ(リテ云ヘル片ハ私ノ說ニ從テ偏トホスカタ〳〵ノ言ハヌリ)集注ニテハ言出而人信服之不待其辭之畢ト子路ノ人トナリ、明決ナル故、訟ヲ斷ル言ハイヒ出セハイヒ終ラヌ二最早訟者歸服メソノ言ハノ終ルヲ不待トスルニカヽハ半ニ(片一方ノ)子路ノサハキノコトソ半ヲ三、訟ル人カ服スルトスルフニ

子路無宿諾

古本別ニ一章トス、故ニ此篇二十五章ニ、邢氏ニケ言ノ章ト合メ一章トス、集注同シ、故ニ二十四章トス、古義ニ復シ、上ト別テ一章トス○何氏ノ說ニハ、宿ハ豫ニ、諾ハ豫メ諾スルソノ時ニ臨テ、言ハヌノ意ト解スアラカシメウケガハヌトスルフ、豫メ諾スルソノ時ニ臨テ、言ハヌノ相違ニナレハアシキト云フトニル古義集注トモニヤハリ宿留ノ義ニ

君子成人之美

此章ハ人ニアル所ノ善ヲ、隨分助テナシ全スルフニ、集注、成者誘

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

疫將大勸以成其事也ト注スコレニテハ人ニイマタナキ処ノ善ヲ
世話ヲシテ成就スルナリ
可謂之達矣
聞トハ実ナリメ名ノアラハルヽ、達トハ内リノ実アリテ名ノ自然ト
達シキコユルナリイツレモ名ノ高クナルナリ集注聞ヲ解メ名誉
著聞トイフコレハ宣シ達ヲ解メ徒労於人而行無不得之
謂ト又人信之則所行自無窒礙矣トコノ意ハワカ行ノ萬
事ニサシツカヘナリ思フヤウニ達シ遂テ吉ナルナリコレハ名高リ
ナルヲ好ムヨリハ名聞ヲ好ム(一ト云)歟アリトニテ嫌ヲサクルナリシカレモ自
然ト達スル名ハ聖人トテモ不好ニハアルヘシ只釣名掠美ヲキラ
フノミ

先事後得

コレハ先難後獲トイフト同シ意ナリ人ノ為ニ苦労ヲ先ツナシ
テソノ報礼ニアツカルヲ後ニスト云フナリ集注解メ云為所當
為而不計其功ト此ニテハナスヘキ事ヲ先ツナシテワカ身ニ得ル事
功ヲ後ニスルト云フナリコレモ報礼ヲ望ム心ヲ嫌テカリ解スルトニヘタ
リ然ルニ労アレハソノ報ハアルヘキナリシカレモ報ヲ求メンカ為ニ労ヲスルハ、
徳ヲ崇フストイフヘカラズ先ツ労スルハ事ヲ大事ニシテ人ノ為ニスル

故ニソノ後報礼自然ト至ルハカラサルニハアラス又報礼アルヘキ
筈ノコトナリトモ責心アルニ非スコレソノ徳ヲ崇フスルユヘンナリ

樊遅問仁

集注云以愛欲其周而知有所擇故疑二者之相悖耳
トコノ意ハ愛ハアマネク人ヲ愛シ知ハ善悪ヲ見分テ取捨スル故
愛ト知トハクヒチカヒアリトイフコトソレユヘ未達ト仁知相悖ヲウ
タカフテ未ソノ旨ニ達セサルヘシ古義ノ旨ハ仁ヲ愛人ト荅玉フハ直
ニ合点ノ疑カハズタヽ知ハ大徳ナルニヨキ人ヲ見出メシルヲ知人ト云ソ
レハカリノコトニテハスムマシト思テ疑フコソ故樊遅未達以下ハ皆
知ノコトニテ仁ヲ合セ説クニアラス集注ニ云リスルハ下ノ不仁者遠矣
トイフニ拘ルトミヘタリ率直ハ知ヘ使直ハ仁ナレ共然ニ不仁者遠
矣トイフハ知ノ徳ヘ仁知相悖ラサルヲ弁スルニハアラズ固ヨリ愛人
知人ノ二相悖ルアルニアラス愛ハ周キナレトモ善悪差別ナ
ク愛ストイフニハアラズ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

子路第十三

先有司

此章有司ニ先ンスト云ハ掌トメ政ヲナス上ニテハ何事モ先ツ上ノ分ヨリ先ツナシ行フヿハ下ハ令ニ從フテ處戚ナシト云フヿニ集注ニテハ事必先之於彼而後考其成功則己不勞而事畢挙矣又云不先有司則君行臣戚矣ト有司ヲ先キニスルト云意ニテ有司ヲ任責ノ成功ヲ要スルサフナケレハ君カ臣ノ戚ニカヽルトヨリ挙尓所知

集注云仲弓憲無以盡知一時之賢才ト云コレニテハ仲弓ノ為知賢才而挙之ト云ハ天下ノ廣キ中ノ賢才、皆ワカ知ル人ニアラサレハ十ニトメコレヲ挙シト疑フヘク夫子ノ云リスルハ、尓カチカヅキノ中ノ賢才ヲアケヨ左スレハソノ手ノ三テ、千カツキノチカツキ又賢才ヲ挙ヘ、段々弘ニハ天下ノ賢才ミナ挙ルトノ王フヘシ、古義ニテハ為知云リハ、此方ハ知人ノ明ナケレハナニト目利メ、賢才ノ明ナキヲイフヘシ、近ヅキノフハツノ餘意ニヲモノコニアラス夫子ノ對ニハ尓カ目利一ハイノ賢才ヲ挙ヨモシ誠心求賢才ノ意アレハ目利ノ不及処ハ人々見出メスメアクルモノヽ強テチカヅキニカキルニアラストヽリ

禮樂不興

此章別ニ異同アルニアラスタヽ禮樂ニ字ノ解古義ハ礼ハ玉帛ノ禮ニ楽ハ鐘鼓ノ楽ニ刑罰ト對シイフ、集注ニテハ事得其序之謂礼物得其和之謂楽事不成則無序而不和故禮楽不興ト注メコノ礼ト楽トハ玉帛鐘鼓ノコニアラスメ事々物々ノ理ヲ得テ和スルヲコレハ程氏ノ失正理則無序而不和ト云説ヨリ出ハ俏ノ人而不仁ノ章ニ、礼楽ヲ注スルモ同シヲコレ理学ノ故習、従フヘカラス、古ヘ所謂礼楽ハ玉

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

鼎ノ文錯鍾鼓ノ鏗鏘ヲイフヿソノ事ナフメタヽニソノ理ヲ以テイフコトハナシ況礼ホト刑罰ト對シイフコトハ礼ホト何ソ玉鼎鍾鼓ニアラサラシヤ○又胡氏注告訴天王云リ此説大注ニ人情ニ非スト云大全中ニモコノ問答アリ此時天王方伯皆訟ヘキニアラス（上ニ諭ス又）不知トイフヘシト此事先子ノ諭弁詳ナリ

魯徴之政

此章ハ魯徴ノ二國衰乱ノ甚トイヘトモ猶先王ノ遺風アリ（リ）本兄弟ノ國ユヘ相並テ勢ハ弱ケレ共他ノ國ニ優ルコヲ嘗セルニ集注ニテハ是時衰乱政亦相似故孔子嘆之ト解ス夫子ノ衰ヲ嘆ス玉フハカリノ意ナリ

苟合矣

苟合矣云々トハ各別心ノ苦ミニテ物ヲ取調ルニモアラス又ステホカニテハウテヤリニスルニモアラス程ヨク取ツクラヒ物ヲ漸々ニメ次第アルヲホメ玉フニ集注モ大意ハ同シケレ共不以外物為心ト解スルハ本文ノ旨ニアラス心性ノコヲ主トシ外物ニハ心ヲ誘レ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187　　ガラス使用

又ソレヲホメラルヽトスルニ外物ニ汨レヌヲツトムルヿハ荘子ナトノ見ヲ
古ノ旨ニアラス

苟有用我者

コノ章ハ夫子門弟子ノ疑ヲ開クタメニノ玉フ佛勝弗狃カ
如キモノヽ名ニサヘ夫子猶應シ玉フ思合アリ子路コヽヲ疑フ故
モシ此方ヲ用ユルナラハ暮月而已可也三年ニメ成ルヿ有ントヽ云
ヿヽ集注ニテハ史記ニ援テ云ヘ蓋為衛霊公不能用而
発トヽコヽハ援ナキヿヲ牽合メトキタルモノヽ苟ハチヨツトデ
モト云意又若シノ意モヤリシカヽハサシ所アリテノ玉フニハアラ
サルヿ知ルヘシ

必世而後仁

必世トハソノ身一代ヲイフ王者ノ仁徳ハ善人ノ為邦ヨリ功
ノ速ナルヲイフ集注ニテハ三十年ヲ一世トス三十年ヲ一世トス
ルヿナキニハアラス然トモ此所ノ世ハソノ身一代ノコヲイフハ効ノ速
ナルヲイフ故ニ又集注所引程子ノ説ハ文武ヨリ成王ニ至ヲ
イフ歴世ノ義ト見ヘタリ集注本説トハ異ナイツレニテモ速
ナルコトハシカタシ

吾黨之直者

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

集注云父子相隠天理人情之至也ト古義大注中天
理人情二節ニ分ツコヲ非ト云人情ニ叶フコハ即天理天
理ノアル所ハ即人情トシカレモコレ集注ニ就テ弁シタルモノナリ
天理ト云ヘハ古ノ旨ニ非ルヘ遺書處々ニ弁シ置シ通リナリ

居處恭

集注云恭主容敬主事恭見於外敬主乎中程子曰
此是徹上徹下語聖人初無二語也兌之則辟面盎背
推而達之則蕴恭而天下耳矣ト恭ハ容敬ハ事恭ハ外
敬ハ内ト分テトクハ体用ニ就テ説之又コレ等ハ朱説常ニ對
メトク斈シモトヨリ本文ノ旨ニアラス程子ノ説モ持敬ノ説ヨリ
出テソノ言甚張大且精微ニスキテ本文ノ穏ナ語意似
ス古義ニテハ恭ハ人ニインキンニテヲヘイニセスヘ敬ハ事ヲ大事ニ
カケルヘシ忠ハ人ニ交ルニソノ心ヲ尽スコト皆仁ヲ求ルノ方ニコノ
通リニスレハ仁カ得ラルヘトニヘ又胡氏曰樊遅尚仁者三此
最先難次之愛人其最後乎トアノ説ヲヨリトコロナシ且
コノ他ノ二章ハ知ヲ以テ合尚ノ若此章ヲ以テ手ヲ下ス一所
トスルヤハ知ハ何ヨリ手ヲ下スヤシルヘカラス此ノ一所モスマサルヘシ
知ニ推テ従ヘカラス此ノ一所モスマサルヘシ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

行己有恥

此章ハ行己有恥云々才行兼全キ人ヲ士ノ上トス宗族称
孝云々行全フシテ才不足ヲイフ故ニ次トス集注云子貢能
言故以使事告之トソノカミ列國ノ使ヲ交ルハ重キ事ナル故ニ
ニ云々ス（ニカヽル）行己有恥ハ行アルコト使於四方ハ才アルコトヲイフ（言詔ハ字救子貢トアル）
言ヲ故ニ使事ヲ告ルニハアラス（言詔ヲヨリテル）

不占而已矣

古義南軒ノ説ニ從ヒ恒ナキ人ハ占決ヲ一タスシテハチヨウ
クトイフコト不占ハ占ヲ用ヒスメシテタルヲトイフコト集注闕疑

又楊氏ノ説ヲ引テ云君子於易尚玩其占則知無常
之取義矣其為無常也蓋亦不占而已矣トコノ旨ハ古ヘハ
常無ケレハハチヲ得ルヲ知レ無常コハウラナハヌカ故ニトイフ
ナリコノ説ハ本文ニソムケリ

君子泰而

コノ章ハ驕ト泰ト常ニ相因ル君子小人ノ心ヲ設ケ異ナル故
ソノ様子ニアラハルヽノ違アルヲカクノ如キシ集注ニテハ君子循
理小人逞欲トニ君子小人ヲ天理人欲ニ分テトキタルモノニ

剛毅木訥

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187　　ガラス使用

剛毅木訥ノ四ノモノハ人ノ性質ヲイフニ本四ツノコトバ言令色ハ外似テ内実偽リ剛毅木訥ハ外野ナル内ハ却テ実ニ集注楊氏曰剛毅則不屈於物欲木訥則不至於外馳トコレニテハ剛毅木訥ハ物欲ト外馳ト与衛ク工用ニ質ニアラス

切々偲々

此章ハ朋友ハ切々偲々兄弟ニハ怡々トイフハ重ニ応ヲ以テ分ツテイフニ此三个事明友兄弟共ヘ通スレ共中ニテソノ重キ所ヲ挙テ分テノ玉フニ集注ニテハ胡氏曰又恐其混於所施故又別而言之トキットヲ分チタルトトスルニ若コノ説ノ通リナレハ初ヨリ分テノ玉フヘキニソフナキカラハ何モ通用ノコトニテ後ニ重ヲ分テ不サルコトシレヘシ

憲問第十四

仁則吾不知也

此章克伐怨欲ノ行ハレサルハ成程シニクキコトヨキハヨキナレ共、仁トハイハレストハ云コトニ集注ニテハ仁則天理渾然自無署之累不行不足以言之也トコノ旨ハ仁ハ天理ニ天理行ハ克伐ノ一ノウツリヒナシ克伐一ノ不行ハイフニモ及ハサルコトト

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

云フ、又集注ニ云克去己私以復乎礼則私欲不萌而
天理之本然者得矣若但制而不行則是未有拔去
病根之意而容其潜蔵隠伏於胸中也豈克己求
仁之謂哉ト克伐ノ行ハレサルハウハカワニテ制シタルトイフ物ト、
草ヲカリテ根ヲ去ヌカコトシ仁トイヘハ物欲ノ敬ヲ除去ナレハ、
根ヲ連テ去ルカコトシ古義ハ克伐ノ不行ナルハヨキ事ナレ共一身
ノ上ノ徳ニテ物ニ及フノ切ナシ悪キコトニハアラサレ共仁トイフ（キホト
ノ徳ニ非ス原憲ノ意ニオモヘラク仁ハカリアラントト思テ問ハ夫
子云々スルハ仁ハコレニテスムニアラス廣ク普愛（慈）ノ徳物及テ後仁
トイフヘシトナリ憲ノ意ナレハ己ヲ治ルト上ニハ不仁ナルヘケレ共物
ニ及フ仁徳ナキ故ニ克伐ノ不行ヲ仁トハイウヘカラスト云ヘリ

仁者必有勇

仁ハ人ヲ愛スルノ徳ナリ人ヲ愛スレハ人ノ難ニ赴キ人ノ急ヲ救コテ、
身ヲカヘリミスコレ仁者ノ勇ナリ集注云仁者心無私累トコノ
説ハ無欲ヲ仁トスルニ出ル心ミカルヽナケレハ何事ニテモ思切リヤスシ、
コレ仁者ノ勇アルトイヘトモナリトイヘリ

君子而不仁

コノ章集注ノ謝氏説ニ云毫髪違間心不在焉則未免

為不仁ト仁ヲ心ノ徳トスル故ニカ精神ノ放逸ナルヲサシテ不仁ヲ云ヘリト云ヘル古義ハ君子ハ常々人ヲ愛スルヲ主トシテ厳格ニヤラヌヲ仁ヲ主トシテラスト云程ノ事ニテ不仁者ヲ仁ニイフホトノコトニハアラズ

人也

古注疏云獨言此人也ト朱注従之俗ニ男一人トイフカコトシ范氏楊氏人道ヲ盡スヲイフト説ク古義人仁同音ニヨリテ誤レル也トノ玉フヘシ若シカラサレハ閑語ニナリテ落着ナキヲ

子路問成人

集注云兼此四子之長則知足以窮理廉足以養心勇足以力行藝足以泛應而又節之以礼和之以楽使徳成於内而文見乎外則材全徳備渾然不見一善成名之迹中正和楽粹然無復偏倚駁雑之蔽又曰須是合此四人之能文之以礼楽ト云ノ意ハ成人ハ知廉勇藝四人ノ長ヲ一ツニ合セ知ハ窮理ノ廉ハ養心無欲ノ勇ハ力行ノ藝ハ泛應ノ上ニ礼ト楽トヲ兼テ内外ヲ養ヒ又ソノ上ニカテ又礼ヲ以テ文ルヲ成人ト云ヒ古義謂ク四人ノ長ヲ一人ノ身ノ上ニカテ又礼楽ヲ以テ文ルヲ聖人ト云モ成カタキヲ云ヒ此章ノ意ハ或ハ知或ハ

廉一徳ヲ全フシタル上ニ礼楽ヲ以テ文ル寸ハ成人ナリト云フニ如ノ字ニ以ノ字ニテシルヘシ若集注ノ意ナラハ兼トアルヘキ事ナリ

曰今之成人者

集注本説ニ夫子ノ語ヲ古義有民人ノ章ノ語勢ニヨリテニハ胡氏ノ説ノ通リ子路ノ語トミヘタリ故ニ子路ノ語トス子路ノ語ナレハ能ク理ニ中リ夫子モ許シ玉フ故此書ニノセタリト

説而不正

集注ニテハ揖文ノ二事ヲ平説メ文ハ説揖ハ正ヲイフトハカリ見ル古義ハ専揖ノ義ヲトリカ此章ノ意ナリ揖公正而不説ハ主ナリ晋文公説而不正ハ容ニ何トナレハ時代ニ就テイヘハ揖ハ先ニテ文ハアトナリ若集注ノ通リナレハ揖ヲマツ説クヘキ道理ニシカルニ云々スルハ、マツソノ容語ヲ出シテ重キ下ニヨク事ニテシルヘシ

未仁乎

子路ノ管仲ヲ未仁乎ト問フハ慈愛ノ徳全フノ仁者トイフモノニハアルマシキヤト問ルニ集注ニテハ忍心害理未得為仁也ト注ス、仁ヲ心徳トスルニ故忍心トハ心ノ徳ヲヤフリタルライフ害理トハ仁ハ天下ノ正理ニ正理ヲソコナフトイフコトニテ管仲非仁者與

集注程子ノ説ニヨリテ桓公ヲ兄トシ糾ヲ弟トス曰仲私於所
事輔之以爭國非義也桓公殺之雖過而糾之死実當仲
始與之同謀遂與之同死可也知輔之爭為不義將自免
以圖後功而可也故聖人不責其死而称其功若使桓弟
而糾兄管仲所輔者正桓奪其國而殺之則管仲之與
桓不可同世之讐也若計其後仲而與其事桓聖人之言
無乃害義之甚啓萬世反覆不忠之乱乎如唐之王珪
魏徵不死建成之難而從太宗可謂害於義矣後雖
有功何足贖哉朱子曰（管仲）有功而無罪故聖人猶称其功ト

コノ旨ハ管仲弟ノ方ニ仕ヘテコレヲ輔ケ兄ト爭フハ義ニアラス桓
公ノ子糾ヲ殺スハ甚ケレトモ子糾兄ニタテズク故死スルハ當リ
仲始糾ト謀ヲ同スルハ糾ノ殺ル寸死メ可シ糾ヲ輔テ爭ハ云
ルハ不義ナリトイフヨシリ自免レテ後ノ功ヲハカラントスルハコレ又可ト
故聖人仲ノ死ヲ責スルテソノ功ヲ称ス若桓弟ニシテ糾兄ナ
ラハ管仲ノ輔ル所正シ弟兄ノ國ヲ奪テ兄ヲ殺サハ管仲ト
桓公トハ甚シキカタキ若後ノ功ヲ計テ桓ニ事ルヲ許セハ聖
人ノ言ハ義ヲ害スルノ甚シテ萬世反覆不忠ノ乱ヲヒキリ唐
ノ王珪魏徵建成ノ難ニ死セズシテ太宗ニ從ヒ義ヲ害ストイ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187　ガラス使用

フヘシ後卯ヤリトイヘトモ何ソアヤナフニ足シヤト云ヒ古義ハ管
子等ノ書ヲ引テ子糾ハ庶兄ニ桓公ハ嬌室ノ子ニ兄弟ノ
義ヲ以テイヘハ弟ヨリ兄ヲ殺セハ不義ナリ仲モ不義ニ黨ス
罪ヲイヌカレズ然ニ春秋之義嬌室ノ子ハ貴ク庶子ハ賤シクシテ嘗仲初ハ事ル君ヘカヲ盡ス上ノコトナレハヤタメ事ルノ
嫌ヲ忍テ後日ノ大功ヲナス此時ニ當リテ外ニ一匡ノ功ヲ就
ス人ナシ仲ハソノ手覚アリテノコトナル故死不死ノ上ニ就テ仁不
仁ヲ論セズ後日ノ功ニ就テ仁ヲ許サルニ然嘗仲ノ事功純
粋ノ王道ナラサルユヘ孟子ニハソノ功烈ノ卑シキヲイフ程子

ノ云リスルハ只漢書薄照ノ事ニ就テイフ此ハ文帝ト厲王ト
兄弟ユヘ兄ヲ殺トイフニヲワサトサケテ弟ヲ殺トイフニ援トシガタシ

具言之不詐

此章古義馬氏ノ説ニ從テ謂ク人ノ言ハ多ク言ノ方高クシテ
行ノ方不及ツリ合難キモノニ若言テ心ニハツカシカラヌハ実徳
ヨリ発スル言ハ七ル故至テ難キモノニ十集注ニ云大言不慙則無
必為之志而不自度其能否矣トコレニテハ此方ノ未タヨリセ
サルヲヤ能スルヤウニ大言スルモノハ必ソノ通リスル志ノナキモノニ吾身
ノスルカ否ヲハカラズノ大言シテハチヌニ若ソノ大言ノ人ニハツカシリ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

思ハヌヲ其通リニ践ミ行ントスルハ難キヿナリトイフヿ

君子上達

集注云君子循天理故日進乎高明小人徇人欲故日究乎汙下ト上達トハ段々上リテ天理ノ善ヲ極ムル下達トハ段々下ヘ下リテ人欲ノ私ニ入ルヿ君子小人ヲ天理人欲ニワケテミルヿ古義ハ上達トハ道徳仁義ノ道ニ達スルヿ下達トハ野鄙ナルヿニヨク達スルヿヨキヿニ上手ナレハ君子悪ヒヿニ上手ナレハ小人トイフヿナリ

恥其言而過其行

此章ハ言ハノ行ヨリ過キタルハ恥ルトイフヿ其言ヒテ其行ヒスクルヲ恥ツトヨム恥ノ字下ニテカル集注ニテハ恥者不敢盡之意過者歉有餘之辞ト解メ言ハノ方ヲ主トシテカリヒカヘ行ヒノ方ヲスコシ過トヨムヿ其言ヲ恥テ其行ヲ過スト云フヿ恥ノ字言ノ字ニテカル恥ノ字ヲ言ハヌヒカヘ足ラズメニスルヿトス

自道也

自道トハ即自身ノヿヲ仰セラルルトイフヿ集注ニテハ猶云謙辞ト夫子ノ即自身ノ謙退トスルヿ

子貢方人

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

集注ニテハ方人ハ窮理ノ一端ニテアレキフニハアラサレ𪜈專ニヨヲ務ハ、
心外ニ馳テ自脩ヲ踈ナリソレ故夫子抑ヘ玉フトス古義ノ旨ハ、
人ヲ方ルヿ固ヨリアルヿニ聖人モ人ノヨシアシヲ評論シ玉ヘトモ是
皆我身ノ為メノ心得ニスルヿ只人ノヨシアシヲ論スルハイラヌヿニテソ
レヨリハ我身ヲ脩ルガイ上ニカナヒトノ玉フヿニ人ノコトライハスニワカ身
ノヨシアシヲ考ヘヨトノヿニ

莫我知也矣

此句問ヲ設ルニ非ス夫子ノ我ヲシルヿ無ヲ嘆シテノ玉フヿニ集注
ニテハ発子貢之問ト注スイワサンカ為ニノ玉フトミル

何為其莫知子也

集注云蓋在孔門唯子貢之智幾足以及此故特語以発
之惜乎其猶有所未達也トコノ意ナレハ子貢ヲ夫子ノ目利
ヲ以テ問カケテソノ意ヲ発セラルヽヿト古義ニテハソノワケニテハナシニ偶
子貢ト語テ黙契ノ難キヲ嘆セラルヽヿニテ子貢ヘ對ノヿニハアラス
程子曰不怨天不尤人在理當如此又曰下学上達意在言
表又曰下学人事便是上達天理トモ先儒ハ人倫日用ノソト
ヘ洒掃應對等ヲ下学トス上達トハ其所以然ノ理ヲイフ古義
ニテハ下学トハ人事ノ近キヲ習フヲイフト上達トハ中人以上不可

語上ノ意ニテ道徳ノ奥ニイタルコト天命ヲ知ルモ身ソノ内ニアリ達ハユキトヾクコト

道之将行也命也與

此章何事ヨリノコトナルヲ不明サレ尾然トモ道ノ廃行ハミナ命トヽモノヽ人カノヨク成スヿニアラスト聖人ノ命ヲ安ンセラルヽヨリアラハス天ニアルヲ命ヲイヒ人ノ出処利害ノ上ハ義ヲイフヘシ集注ニ云言此以暁景伯安子路而警伯寮耳聖人於利害之際則不待訣於命而後泰然也トコノ旨ハ命ヲ以テ訣スルナハ中人以下ノヿ聖人ハ命ハイフニ及ハズソ泰然タリシカレモ此章命ヲソヲヲハ景伯ヲサトシ子路ヲ安シ伯寮ヲ警シカ為ニ命ヲソヲ玉フトヽカヽル訓納字義ニ詳ナリ

闕黨童子将命

集注ニ云蓋所以抑而教之非嬾而異之也ト然トモ此章抑ル意ハミヘスヲ謂ノ原壌ノ脛ヲウツハ老人ユヘ教ノ急ナルヽ朝聞道夕死可ノ意ナヘシ童子ハ弱年ニテ寛宥ニ教ルニアラサレハ終ニ材ヲナシカタシ老少ノ違アルヘシ

古義抄翼卷之三畢

古義抄翼卷之四

伊藤善韶 著

論語

衛靈公第十五

君子固窮

固窮ハ固ハ虛字ニコトニ困窮スト云ヿニ、集注モ本説ハ同ヒケレ
ド、又程子ノ説ヲ引テ曰、固窮者、固守其窮、不通トコノ説
ニテハ実字ナリ、カタクソノ窮ヲ守ルトイフヿナリ
予一以貫之

コノ章一貫ノ旨里仁ニ所云ト同シテ、集注モ前篇ト同解
ナリ、ソノ異同上ニ弁ズル通リニ、ソノ内集注ニテハ彼以行言而
此以知言也トアリ、前篇ハ行ニ就テイヒ此章ハ知ヲ以イフトハ、
此章ハ初ノ多識ノ上ノ巻ユヘニシカレトモ知行ヲ以而章ヲ
分ツコトハアラス、多識モ又行ノ上ニ就テイフニ

言忠信

程子曰学要鞭辟近裏著己而已、又曰質美者明得
盡查滓便化、却與天地同體ト、コノ意ハ皆ワカ身ヲトカメテ、
人欲ヲカチ去ルノ工夫ニ本文ノ旨ハ皆人ノ為ニスルコトニ苟ニ
ヨリテ、古ノ学ハミナ人ノ為ニナルヤウニスルコト肝要ニ、宋朝以来
ノ旨ハワカ一身ヲトカメルヲ主トス須ク弁スヘシ

直哉史魚

此章邦有道云々ハソノ人ノ平生ノ制行ニ就テ直ノ実ヲ
イフ、下節君子哉蘧伯玉トイヒテ、ソノ出処ノ実ヲイフト同シテ
ナリ、集注ニテハ云史魚自以不能進賢退不肖既死猶以
尸諫トコレニテハ諫静ニツイテイフ、コレハ家語ニノスルトコロニ家
語ハ此章ニヨリテ演スルナルヘシ尸諫ノ一事ヲ以コノ章ヲ証據
スヘキニアラス

無求生以害仁

仁ハ慈愛ノ徳人ニ及フコト、求生トハワカ生路ヲ求ルコト、生路ヲ求ルハ人々ソノ若ノ
トイヘハ生キ長ルヘキノスチ道ヲイフ、生
ナレトモ、仁ニ叶フヤウニシテ求ムヘキコト、若生路ヲステ、仁ヲ求ム
キ心ナレハスステ、求ルコト、生路ヲ求ルカ為ニメ仁ヲ害スヘキニ非ス集
注云理當死而求生則於其心有不安矣是害其心之
徳也トハ仁ヲ心ノ徳トシ死スルハヅノ場ニテ、死ナヂハワカ心安カラスワ
カ心安カラサレハ本然所具ノ心徳ヲソコナフトイフモノシトナリ
害仁ノ所ハ同シケレモ、仁ト害トノ見ヤウチカヒタルモノナリ

子貢問為仁

古義為猶助ノトハ注スルカ仁ヲ行フノタスケヲ問フコト集注
明解ナシ、仁ヲナスコヲ問フトヨムヘシ、然モ孔子告之以為仁之
資而已トアレハ資ハタスケノコトニテミレハサシタル異モナシ

顔淵問為邦

為ヲ古義ニテハナストヨム邦ノ紀綱法度ヲ新ニ創造スルナリ、
故ニ仁ヲ以巻ノ冕ノ礼楽ヲ損益シテ巻玉フ集注ニテハ天
下ヲ治ルコヲ問フトス邦トイフハ諫退ノ辞ニ為ヲオサムトスルナリ

人無遠慮

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

遠近ハ時ニ就テイフ、後々ノフニ別ナケレハ、ニ近キ憂アルトイフ
ナリ、集注蘓氏ノ説ハ、地ノ遠近ノフニ、千里ノ外ヲ慮サレハ凡
席ノ憂アリト解ス

臧文仲其竊位

集注ハ、文仲ノ一身上ニ就テ、位ヲ竊ヲ竊トス、
ナリ、所引范氏ノ説ハ柳下惠云々ノ、賢ヲ蔽ヲ以、位ヲ竊トス、
コノ説宜シ、古義モソノ通リナリ

躬自厚子

此章ハ人ニ接スル上ニ就テイフ、上下一串ノフニ、攻其悪無攻人
之悪トイフト同キ意ニ、集注ニテハ、責己厚故身益脩責人薄、
故人易従トカヤウニ(ヤウニ)ノコトクニ句已ト人トニ分テ解スルハ、本文ノ旨ニ非ス、
上句ハワレニカリ、下句ハ人ニカルニナルニ

好行小慧難矣哉

難矣哉トハ、徒ニ入ルノカタキヲイフソレデハ中々入ラレヌトイフニ、集注
ニテハ、患難アル意上三條ノコトク、不宜コアレハソレデハ難義カ出来ルト
云フニ

義以為質

此章義ヲヲモニトキ、孔孫信ノ三ヲ以、維持スルヲノ主トスルコノ上

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

一段ノ工夫アルニアラス、集注、程子曰、敬以直内則義以方外
トコレ易ノ文言ニヨリテイフ所ナレ𪜈、然トモコノ章ニハ義ヨリ上ヲ
尋ルニアラス、程説ノ通ナレハ、敬ヲ義ノヨリテ本ツク所トス、文言ニ
テハ、敬義ノ二ツヲ以、又辞ノ直方大ヲ発揮ス、此章ノ旨トハ
各別ナリ

其恕乎

恕ハ人ノ心ヲ忖度ノハカリコト、恕ヲ行フニソノ恕ヲ行フ要ヲノ主フ、己所不欲、勿施於人トコレ恕ヲ行
フ要ト、恕ノ解ニアラス、事々ケヤウニ心ヲ付テ行ヘハ仁ヲ求ル手
節ナリ、恕ハ脩為ニ仁ハ道ニテ脩為スレハ道ニイタルナレト、此章甚恕
乎トイヒ切リテ、サテソノ次ニ己所不欲トアルヲミテシルヘシ、集
注ニテハ、恕字ヲ推己及物ト解ス、己所不欲トアルヲ上ノ恕ノ
字ノ解トスコレニテハ、恕字ヲ直ニ推己トミルソレユヘ己所不欲ヲ
ヲ、恕字ノ解トスルナレト、此異同委シキコトハ語孟字義訓幼字義
ニ詳ナリ

誰毀誰譽

毀トハ人ノ悪ヲヤアリコホツケテ、誉トハ人ノ善ヲホメアルイヒ、字面
ノ通リ聞ヘタリ、集注云、毀者称人之悪而損其真誉者

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

揚人之善而過其実トコノ説ニテハツヨクホメテ溢美ニナリ
ツヨクソシリテ潜毀ニナルコト恐クハ然ス

巧言乱徳

乱トハ混乱雑一ノ乱徳トハ達徳道一ノ徳吾一身ニカキルヲ
ラス道ニヨラズノモツトモラシクイフ言バ、道ヲモクキコエ𠮟テ却テ
道徳ヲヤブリ雑乱ノマキレモノ（ラハシキ）ニヨロシク聞テ実ノ所ハアシキ言
ハシイフ小不忍ノ句ハワカフシ集注ニテハ巧言変乱是非聴
之使之喪其所守トス乱ヲ喪ニ貼シ徳ヲ所守ニ貼ス巧言ヲ
貼スル巧言ハ上ニイフト同意ニソノ巧言ヲキケハ此方ノ守ル所ノ徳ヲ
失フトス云フ

人能弘道

道ハ貴ケレ𠮟獨弘モノニアラス人ニヨリテ弘ルシカレハ人ハ道ヲ任ト
セスンハアルヘカラス集注云人心有覚而道体無為故人能大
其道々不能大其人也トユノ意ハ人トイフハ人心ノコト道トイフハ
道体ノコト心ニ知覚ノ徳アリ道体ハ貴ケレ𠮟ナスコトナシ心ノ霊
ヲ以知覚シカノ道体ヲヒロムルコト人能弘道トスルモノニトスル
ニ張子曰心能盡性人能弘道也性不知檢其心非道
弘人也トコレハ心ノ未発ヲ性トイフ心ヲ以テ未発ノ性ヲ盡ス

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187　ガラス使用

ヲ人能弘道ト云ハ未発ノ性ヨリ心ヲ徳
拉制スルヲハナラヌコレヲ非道弘人也トイフコ本文ノ旨トハ大ニ乖ケリ
吾嘗終日
此章ハ古ヲ学フノ益アルヲイフ夫子カ子テ思ヲ専ラニシテ三玉
ヘルヲハ無益ニテ学フカ利益多シソノヲヨ人ニホシ玉フコ集注
ニテハ為思而不学者言之又李氏曰夫子非思而不学者
特重語以教人尓ト二説ヒ皆夫子ノ徒ニ教ヲ設ケテ示
サルヽトミルヽ十有五而志于学ノ章ト同シキヿコ
知及之

知及之ト云ハ為君ノ難キヲシルヿヲイヒコレヲ知
テノチ仁ノ徳ニテ守リ
荘ニテ涖ニ礼ニテ民ヲ鼓舞振作スルヿヲイヒ人君ノ国ヲ有チ家
ヲ守ルノ大事ヲ古義ノ注并先子標注詳ナル故コヽニ縷々セス又
集注ニテハ知足以知此理而私欲間之云々トイヘルノ意ハソノ
理ヲシルヿヲイヒ仁ノ守ルヿヲ不能トイヒ欲念ノヘタテタルトス又曰知此
理而無私欲以間之則所知者在我而不失矣トスルニ理
ヲシリテ私欲ノヘタテナケレハ仁ニテ守ルヿヲイヒコレニテハソノシル
所ノ理我物トナリテ失ハス不荘以涖之ノ注ニ曰蓋氣習之
偏云々トイヘルハ外ニ厳ナラスソノ故荘以ノツヽ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

ザレハ民敬セストミルと又曰涖之不荘動之不以礼乃其善
稟学問之小鹿然亦非盡善之道也ト不以礼ト云ヲ学
問ノ闕トスル意ハコノ理ヲ知ルニ及ヘド私欲ニ間テラルレハワカ物
（通メコレヲイヘハ）
トナラズ又ワカ物ニナレド氣習ノ偏アレハ厳ナラスメ民敬セラ
而忽之也ト理ヲ知リ敬ヲ去ハコレ大本重キヲ以テ荘礼ハ蔕
ナリ大本立トモ小節ヲ忽ニスヘカラストイヘモ上ニ小鹿トイフモ
知仁アル上ハ荘礼ナリトモヨケレドモシ無ケレハ小鹿ナリトイフト

民之於仁

此章ニハ人ハ今日仁ニヨリテ行ヲ畏ルヽヨリ其
ニテナサルヽ水火ヲ畏ルヽヨリ甚シク感激メハ水ニ投シ火ニヤカ
レテ死スルモノモアリ誠ノ心ヨリ発シテ仁ニヨリテ自ヲコロスモノ
ハ見及ハヌト嘆セラルヽニ集注ニ云民之於水火所頼以生不
可一日無其於仁也忘然但水火外物而仁在己無水火
不過害人之身而不仁則失其心是仁有甚於水火
而亡不可一日無者也況水火或有時而殺人仁則未嘗
殺人ヘ何憚而不為哉トヨノ説ニテハ水火トイヘモノハ人ノタノミ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

トノ、命ヲツナリモノナリ、一日モ無テハ事ヲカリ〻、仁モ又シカリ
ソノ内水火ハ外物、仁ハ心ニ備ルモノナレハ、水火ナケレハ人ノ身ノ害
スルニテノコト不仁ナル心徳ヲ失フコレ仁ハ無テ叶ハサル〻水火ヨリ
甚シ、況ヤ水火ハ時ニヨリテ人ヲ殺スニ仁ハ人ヲコロサズ、然ルニ何ヲ
憚リテ不為ヤト、疑漢王フニ、上ノ水火ト下ノ水火ト意違
フニ古義ハ上下トモ同意ナリ

有教無類

集注云、人性皆善而其類有善悪之殊者、気習之染
也、故君子有教、則人皆可以復於善而不當復論其
類之悪矣トコノ旨ハ、類ハ気質習染ノニノモノヲ兼テイフ気
類ハカリノコトキノ別アレ共、教アルすハ善ニ復ス気類ノ悪ヲ論ス
トイフコト、古義ニテハ、類ハ世類（血スヂ）系図ノコトニ人ハ教ニテ善ニ進ムモノ
ナリ、世類（血スヂ）系図ノヨシアシヲ以テ、善キ人ノ子孫ハ必善ク悪キ
人ノ子孫ハ必悪トイフニ非ストイフコト

道不同

道不同トハ道ハ術業ライフ、巫医ト祝ノ類ナリ、タトヘハ儒者
タルモノ医者ノ為ニ量見ヲ加フルニ却テ宜カラサルコアリ、コレソノ
戒ヲ犯ストイフモノニ、集注云、不同如善悪邪正之類ト、善ト

悪ト邪ト正ト互ニ謀ラサルナシ然ル悪ト邪トハ固ニ絶棄スヘキコトニ相謀ラサルノ言ヲマタズ

季子氏第十六

有國有家者

古義下節蓋均云々ヲ例トメ上節ヲ訂正ス註自明ナリ集注ニテハ循文解スルニ○又按スルニ季孫ノ患蕭牆ニ起ルトハ、身内ヨリノ乱オコルナリニ集注ニ哀公ノ越ヲ以季氏ヲ去ラヌ謀ルヲ擾トス恐クハ然ラス

益者三友

集注云三者損益正相反也ト直ト便辟ト友シ諒ト善柔ト友シ多聞ト便佞ト友スコレハ當ラス便佞ヲ寡聞トモイヒカタシ餘例推スヘシ詳ナルナハ集注摽注ニアリ古義ニテハ一ツヅノ上ニ就テ説キ必シモ一正一反ニ拘ラス○又按スルニ便辟集注ニテハ習於威儀而不直ト解ス婢ム反ヘキトヨムヘシ古義ニテハ巧辟人之所忌トアルハ眡義切サルトイフオハヒノ音ニヨムヘシ

益者三樂

集注云三者損益相反也トコノ異同上章ト同シ重テ解スルニ不及

侍於君子

コノ章ハ卑幼ノ君子大人ノソバニ侍ル礼節ヲイフ集注引尹氏説曰時然後言ト時トイヘハ夫子時而後言人不厭其言トイフト同シ意ニテ成徳ノ上ノ事ニ君子ニ侍ル者ニセムヘキニアラズ

血氣未定

血氣未定トハ若輩ノトキ血氣ノ盛ナルヲノコト世俗イフ通リノ血氣ニ集注云血氣形之所待以生者血陰而氣陽也ト血氣ノ二ツヲ陰陽ニ分チトク古ニアラサレト多分ヲ須ス

畏天命

集注ニテハ天命者天所賦之正理也ト解ス天ヨリ人ニ付與スル所ノ理ヲ指テ命トイフコレニテハ畏トイフハソノ付界ノ重キヲ知テ失ハサルヤウニと古義ニテハワカ身ヲ愼テ冥加ヲオソレテ

君子有九思

コノ章九事軽キヨリ次第々々ニ重キニトク皆人ニ接ル上ニ就テ言ヒナス集注モ同シケレト身ト事トヲ不分程氏説ハ九事各専其一トトク然ルニ大全小注中雲峯胡氏ノ説ハ九思皆敬ヲ主トノトクトイヘリ本文ノ旨ニソムクノミナラス朱注ニモ乖

ケリ、古義大注ノ駁ハコレヲ指ス

見善如不及

見善如不及ト云リ、集注云、顔曽閔冉之徒、蓋能之矣、隠居以求其志云々、集注云、惟伊尹太公之流、可以當之、當時若顔子ニ庶乎此、然隠而未見、又不幸而蚤死、故夫子云然ト、古義大注弁之、詳ニ孟子ニ亦狷顔回同道トイヒ、又易地則皆然トイフ、今コレニ近シトイフハ伊呂ヲ重シ、顔子ヲ軽クスルニ、孔子ノ聖ハ堯舜ニ賢ルコト遠シ、顔子コレニ次ク、シカハ顔子ノ徳業、伊呂ニ媲ルコトナシ、伊呂ハ道ヲ天下ニ行ヒ、数子ハ天下ニ為ルコトアルコトアタハス、故ニ人ニ仕伊呂ヲ疑ハスメ、顔曽ヲ疑フ、小注ニ隠居ヲ伊尹野ニ耕スニアテ湯ノ幣聘ニ応スルヲ、行義ニアツ、顔曽閔冉ノ徒モコレニ當ル、然ルニ未見トノ玉フハ夫子迄ク當世ノ人材ヲ論メシカイフ、帥自身ノ門人ニハ論シ及ホサルナリ

陽貨第十七

性相近也

此章性トイフハ氣質ノ性之相近トイフハ人々大カイ相近ヲメ各別チカヒアルニ非スト云ヘシ性ハ相近ケレ共多ク善ヲ習ヘハ賢人君子トナリ惡ニ習ヘハ小人不仁トナルトイヘシ習ヲ大事ニスルヲノ玉フヘシ集注云性兼氣質而言者也氣質之性固有美惡之不同矣然以其初而言則皆不甚相遠也程子曰此言氣質之性非言性之本也若言其本則性卽是理理無不善孟子之言性善是也何相

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187　　ガラス使用

近之有者トコノ意ハ性トハ云ハ理ノ一ナリ理ハ天ノ善ヲ稟ル
ト聖人ヨリ愚人ニ至ルマデ一ヤウニテカハルコトナシ遠近ヲ以テ
イフヘキニアラス夕、氣質ノ上ニ就テイヘハ聖凡大ニ相違
スルコトシカレドモソノ初ニツキテイヘハ相近トイフヘシ此章性ヲイ
フハ氣質ニ就テイフ本然ノ性ヲイフニアラス孟子ノ性善
ト説クハ本然一理ニ聖人ヨリ愚人マデ一ヤウノ処ヲサス朱
子ノ説ノ旨ハ性トイヘハ本然ノ性ナレド近トイフヲ以ハ此章
ハ氣質ニ就テイフコト氣質ニハ美悪アレドモソノ初ヲ以テイ
ヘハ甚相遠カラスト習ヘハ相遠ノ旨ハ同ニ先儒ノ所説カクノコト
シ然トモ夫子ノ相近トトクトカイフコトナシコノ
章ハ氣ヲ説キ孟子ノ性善ハ理ヲトクヲ以事理考之程子為
密ト朱子ノ断セラレハ大ニ孔孟ノ旨ニソムケリ旦古ハ本ト理氣
ノ別アルニアラス理氣ヲ説フハ宋儒以来ノコトニシカラハ性善トイ
フト相近トイフトモト同意ニテ皆氣ニ就テイフ明カナリ此章
大注ニモ詳ニ弁セリ相近トイフハ人ト禽獣トノ違ノ如ク懸心
絶スルニアラス善ヲ善トシ悪ヲ悪トスルコトハ聖人モ凡人モ同一ヤウ
ノ心ナリ聖ト凡トハ大ニ千カフヤウナレドモ相近キ所ハコロナリ（処ヲサス）是乃
性ノ善ナル故之性善トイフモ天下ノ人悉ク善人ナリトイフニ

ハアラス水ノ流ルニ上ヘハ流レサル力如ク人ハ皆善ニ進ムモノナルヲ
イフコト此等ノ委キコハ遺書所ノミ詳ニ今ソノ大概ヲアグルノミ

唯上知

コノ章宋儒ノ旨ニテハ上ニノフル通リ性ハ理ナリ本然ノ性ハ一
般ニテ聖凡一ヤウナル故上知下愚トノ別アルニアラス此章上知
下愚トイフハ氣ニ就テイフトス故ニ集注ニテハ人之氣質相
近之中又有美惡一定而非習之所能移者トイフ上ヲ
承テ相近トイフソノ中ニテ又ヨシアシ移ラサル所ノモノアルヲイフ
程子ノ曰人性本善有不可移者何也語其性則皆然也語
其才則有下愚之不移所謂下愚有二焉自棄自棄也
人為以善自治則無不可移雖昏愚之至皆可漸磨而
進也惟自暴者拒之以不信自棄者絶之以不為雖聖
人與居不能化而入也仲尼之所謂下愚也然其質非必昏
且愚也往々強戾而才力過人者高幸是也聖人以其自
絶於善謂之下愚然考其歸則誠愚也トコノ旨ハ一理ハ
一般ナレトモ善ニメ下愚ノ人ハ無キハツニ夕ニ氣ノ上ニ就テ
イヘハ才ノ善ニ移ラサルモノアリコレヲ下愚トス故ニ自暴自棄ノ
人ヲ以テ下愚トスコレハ実ハ善ヲ絶テ進

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187　ガラス使用

サルユヘ下愚トイフトス本文ノ旨ハ性相近ヲ承テ人性ハモト相近ケレ氏ソノ内各別ノ上知ハイカ程善悪ニ染トイヘ氏アシリナラズ各別ノ下愚ハ聖人ノ教訓ヲ受ルトイヘ氏善クナラズ一種ノヤウノ生付アルヲイフ皆氣ノ上ニ就テイフ人ハミナ性善ナレ氏アマタノ人ノ中ニハスクレテ美善ノ上知ト下愚トアルヲイフタトエハ億萬人ノ中ニハスクレテ美善ナル人アリ生付テノカタワアル如クニテ移シテ不移モノモタマ〳〵ハアルヲノヲフナリ

未之也已

集注也已ノ已ノミトヨム（ヘシ）公山氏ヘユクフナキノミトイフフナリ（ルヘシ）

注中無所往矣ノ矣ノ字ニテ決シテ古義已ハ止ノヤムトヨム道不行ユクヘキ所ナクンハソノマヽニテヤムカ宜シ必シモ公山カ如キモノ方ヘユクヘキヤトイフフシ（トス注ヲ加フ）

夫召我者

集注ノ程子曰（説ヲ引テ）終不往者知其必不能改故也トコノ意ハ夫子一タビハ出サルレモツイニハ出サレヌハツネル所カ公山カ改ノラレヌ故ニトスルニ古義ノ旨ハ用出サルトイフラビ通リナリ況ヤ善心アリテ召ハ用出サルヽナレ氏一旦ハ善心興リテ召心アレ氏後ニハ續カズ善心ヤミテ不召ユヘ用出サレヌ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187　　ガラス使用

ト云フ之佛肹召ノ大注ニ云ク人於弗擾佛肹二章皆
記其欲往而不記其卒不往者義蓋示人以夫子仁天下
之心而其不往者不暇論焉ト（コレニテアキラカナリ）
子張問仁於孔子
集注云行是五者則心存而理得矣於天下言無適而
不然猶所謂雖之夷狄不可棄者五者之目蓋因子張
所不足而言耳張敬夫曰能行此五者於天下則其心
公平而周遍可知矣然茶其本與ト（コレハ）仁ヲ心ノ徳トスル
ヨリ故ニ仁ヲ行ントス（ヘハ）心存スル（ヘシ）ト思ハ（コノ五ノモノヲ）行ヘハ心存スル（ヘシ）仁ヲ
五ノ者ヲ行テ心存シ心ノ理得ルハ天下中ニ於テイツクヘ往
トテモ心公平周遍ニシテ仁トナルトヲ云フニ行五者ト於天下ト
ニツニ引分ケ之又子張ノ不足所トイフモ本文ノ旨ニアラズ
本文ハ実ニ仁ノイロ（コノ五章）集注云リスルハ宋儒ノ説ト合サル故ト畢
竟吾性ニ有ル所ノ仁ヲ行フハ五ノ者ヲ行ヘハ心存スル故仁
行ルヽ仁行ルヽハ天下中イツクヘ行トテモヨロシカラサルコトナシト云
フヿ本文ノ意ハシカラス仁ヲ行ントヲ思ヘハ先ツ五ノ者ヲヒタス
ラ行ヘハ仁道行ル天下ヲ挙ルハアニ子ノ仁徳ノ及フライフ本
末ノ違孝弟ノ章ナトヽ同シヿ

佛肹呂

張氏曰夫子今日之所言聖人体道之大権也ト権トイヘハ常ノ道ニハアラス時ニ取テノ変置ニ親於其身云々トノ玉フハ道ノ常救人ヘ欲往ノ玉フハ権ナリトイフコト古義ノ旨ハ先キノコトハ守身ノ常法欲往ハ聖人仁心ノ周キニテ人ヲ救ヒ玉フ不得已心ナリトイフコト

好勇好剛

集注ニ云勇者剛之発剛者勇之体トアレ剛ヲ体トシ勇ヲ用トス体用ノ説固ヨリ古ノ旨ニアラス夕トヘアリ𪜈体用ナレハ畢竟一ツノコトニ二ツニ分ツヘキニアラス勇剛ノ弁ハ先集ニ載スルトイヘトモ猶ホ之ヲ略ス

勇トイヘハ気ニ属シテ之剛トイヘハ根ニ入テ手強キコトニ左傳ニ使勇而無剛者嘗冠而速去之トアルニテソ別ニ明ナリ此章モソノ趣キ(通リ)ニテ○総注范氏曰子路勇於善其失之者未能好学以明之也故告之以此曰勇曰剛曰信曰直又皆所以救其偏也トコノ説ニテハ六言ノ六蔽ハ子路ノ身上ニ就テソノ偏ヲ救テ取合セテノ玉フコトニ然ルニ六言ノ六蔽ヲキケリヤト問カケラルルヲミレハ古語ニアルコヲ挙テソレヲ聞クカトノ玉フコトニシカレハ子路ノ偏ヲ救フ為ニ作リ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

始テ示シ玉フニアラス古訓ヲ挙テ孔ニ可シルヘシ

禮云禮云

集注程子云禮只是一箇序乐只是一箇和只此両字含蓄多少義理天下無一物無禮乐且如置此両椅一不正便是無序無序便乖々便不和又如盗賊至為不道然亦有孔乐蓋必有総属必相聽順乃能為盗不然則叛乱無統不能一日相聚而為盗也孔乐無處無之学者要須識得ト云ノ章朱子ノ本説程子ト不同本説宜シ禮乐ヲ直ニ孔ニホトトナス事ニ就テイフ

敬ノ至ル所ヲ将ツテ礼ト和ノ鐘鼓ヲ奏スレハ乐ト云ヒ此ニ敬和ヲ失テ玉帛鐘鼓ヲ用ヒハ礼乐ニアラスト云テ云ヒコノ説ハ敬和ヲ礼乐ノ本トス古義ニテハ仁ヨリ出ル所ノ礼乐ナリ程説上文ノ趣ハ礼ノ乐記ニ本ツキ礼ホヲ序ト和トノ理トナシテトクノ人而不仁如礼何ノ章ノ辭ト同シ

郷原徳之賊

集注云郷原郷人之愿者在郷人之中獨以愿称トコノ説ニテハ郷人ノ中ニテ謹愿ナルモノヲイフ古義ノ旨ハ一在所ノ人ノサシテ謹愿ナル人トニモノニテヨキ人ノヤウニ見ヘテ

実ハ道ノ害ニナル人ヲイフコノ弁文集ニノス

徳之棄

集注ニテハ自棄其徳也ト解ス道ニ聴テ塗ニトクヤウナル
カルヽシキコラスレハワカ徳ヲロレトステヽノケルトテヽ徳ヲコレ棄
ルナリトヨムヘシ古義旨ハワカ一身ノ徳ヲサスニアラス已ロク世上
ノ風俗ノ悪シクナリテ徳ノスタレタルヽトヨム
ヘシ

予欲無言

此章ハ不尚言辞実ヲ務ルヲイフ後世ハタヽ実ハ務メスヽ言

者

辞ノミニナル故云ヽスルヽソノ不言ハ無言ヲスルニアラス道ヲ諭シ玉ハ
ントヽ集注云不察其天理流行之実有不待言而著ト
解スコノ意ハテ学者ノ聖人ヲ見ルハ言語ヲヨステスコレハソノ実
ニアラス天理流行ノ妙ハ言ハヌヲ待スメアラハルヽ个ヤウニホサル
ハ言ハヌヲ解メイフヲヨヘンヲ得サルモノヲヨヲ戒ルナリ

鑽燧改火

集注ニ周礼云春取楡柳之火云ヽコノ説ニテハ一年五度
火ヲ改ムルヽヽ周キニ就テイフ古義周礼ニ擾ラス直ニ本文
ニヨリテ一年一度火ヲ改ムトス

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

夫三年之喪
集注范氏説ニ曰特以聖人為之中制而不敢過故必俯
而就之トコノ説礼記ニヨルコトレニテハ三年ノ喪トイフモノハ聖
人ノ心ヨリテ設ケ始メラレタルモノニ本文ノ旨ハ三年ノ喪
トイフモノハ天地自然ノ理ニ聖人コレニ就テ三年ト定メラ
レタルモノニ古義大注云聖人制為三年之喪者蓋取
絶足以報懐抱之恩尓トコレニ云ニテシルヘシ

勇而無礼

勇而無礼トハワカ勇ヲタノミニシテ、ジキヤイシ知ラズブレナ
ルニ集注云勇無禮則為乱トコレハ上章ノ君子有勇而
無義為乱トコレニヨリテ解ヲナス、シカレドコノ意ナレハ本文勇
而無義トイフトモ可ニソノ違ハ徒ニ勇ニシテ無義悖逆
争闘不善ノナスヘカラサルヲシラサレハ乱ヲナスニイタル（トコロノ）
ソノ意や、重ニソニミルヘカラス

果敢而窒者

集注云果而窒則妄作ストコノ意ハ果ト窒ト一ツニナリテ
サフシテ妄作スル故悪ムトコロナリニ本文ノ旨ハ果敢ニシテ人ノ
善道ヲフサクナリニ妄作ノ二字ヲ加フレハ副解ナリ

年四十而見惡
集注引藤氏(ノ説)曰此亦有為而言不知其為誰也ト本文
ノ意ハ為ニスルニハアラスシテ、汎リノ教ノ藤氏所云ハ本文ノ
ミヤウ拘ル故ノ

微子第十八

殷有三仁

此章ノ仁トイフハ三子ノ所為、去ト奴ト諫死ト事ハ違ヘ
ド三子君ノ為、國ノ為ニスル至誠ノ心ヨリ出ツソレ故仁ヲ以
テ三子ヲ許サルヽソノ内諫死ノ仁タルコハ人皆ヨクシレド、
ナルト為奴トノ仁ナルコハ人知リカタシ故ニ夫子云々シテ玉フノ集
注云不啻乎愛之理而有以全其心之徳也楊氏曰各
得其本心故曰謂之仁トコノ説ニテハ三人ノ所為各本
心ノ徇ヲ全スル故夫子仁ヲ許シ玉フトシレド仁ヨ心ノ本然固
有ノ理トシタル説ナリ

曰吾老矣

コレハ夫子ノ語ニ夫子ヲ待スル道ニアラサル故コノ方ハ年ヨリタ
ル故季孟ノコヲ行コアタハストノ玉ヒテ遂ニ行ルヽ集注ニテ
ハ此言必非面語孔子蓋自以告其臣而孔子聞之尓又

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

程子曰復曰吾老矣不能用也ト云ノ説ハ皆景公ノ一タ
ンノ夫子ヲ季孟ノ間ヲ以テ待セントシ又ソレヲヤメテ手前ハ
年ヨリタル故用ストテヤメラレタルコト尤やうニ遙ニ量
見カハルベシキコト故ニ古義改テ云々スルナリ

天下有道

集注云天下若已平治則我無用変易之正為天下無
道故欲以道易之耳トコノ意ニテハ道アラハトヨム意ニイフ
ハ天下モシ平治ナラハ孔子ノヲセハニテ風俗ヲ変化ナサル、
ニハ及ハヌ程ニサニ今天下無道ナル故ニ道ヲ以テ変化ナサレ
ヌト云フ意ナリ朱注ノ意ニテハ上ヲ承
テトクトナシカタシ

長幼之節

本文ノ旨ハ二子ノ兄ハ上座ニツキ弟ハ下座ニツクニ就テ長
幼ノ通リナレハ君臣ノ義モ廃セラレヌト隠者ノ仕ヲ肯セ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187　ガラス使用

サルヲ、セメラルニフ、集注云丈人之接子路甚倨而子
路益恭、丈人回見其二子則於長幼之節固知其不
可廃矣トコノ意ニテハ丈人ヲ長トシ子路ヲ幼トシ子路ヲ長
トシ二子ヲ幼トスルニシカレモコレナレハ老少老幼ナト、イフ〳〵タ〳〵
長幼トハイハレヌシ、故ニ古義ニ云々スルナリ

君臣之義

君臣ノ義トハ上ノ不仕無義ヲ承テ臣ノ君ニ事ル當然ノ義
理ヲイフ、天地ノ常経古今ノ通義トイフカ如シ、古義ノ説
ノ通リニ、又君臣有義トイヘハ相交ル上ニ就テ言ヲ立ツ

出處進退ハソノ内ニアリ、集注ニ意ヲ合スソ内仕所以行
君臣之義又謂之義則事之可否自有
不可苟者トイフ注ハ本文ニ不當コレハ君臣有義トシテ
トク注ナリ

隠居放言

放言ハ多ク、道ノ行不行時ノ可不可ヲカマハス心ニ正道ト思ヘハ
イヒタキ事ヲイヒテハイミ避ルフノナキヲイフ集注ニテハ言
不合先王之法者多矣トコノ意ニテハ道ニ叶ハサルヲヨシ
タリニイフフニ、左ヤウノフニハアルヘキナリ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

子張第十九

問交於子張

集注云子夏之言迫狹子張說之是也但其所言亦有過高之弊益大賢雖無所不容然大故亦所當絶不賢固不可以拒人然損友亦所當遠学者不可不察トコノ意ハ大賢ノ人ハ大故トテモステテモ損友モ遠ケスト云弊ニナル（子張ノ）ト言甚高上スキルトミルヘシカレトモ尚友ト尚交ト云カハリアリ友ハ明友ノ交ヲ尚ハ泛ク人ニ接スルノ道ヲトフヘシ子夏ノ言ハ人ノヨシアシヲ擇テ己ノ是非ヲ

及サフセサルニ子張ノ言ハ己ノ賢不賢ヲ省テ人ノ可不
可ヲ問ハズ君子云々ニ句ハ夫子ノ言我之大賢與己下ハ
子張夫子ノ意ニヨリテ子夏ノ拒ノ言ヲ斥ルナリ集注ノ旨
古義大注ニ弁スル詳ニ辞ヲ以テ意ヲ害スルナキヲイフシム

博学而篤志

此章仁ハ恩恵ノヒロク人ニカフムルヲイフ博学近思ハ廣
ク人ヲ恵ムノ徳ハナケレ共然カ行ハ仁ニ近シナトノ意ニテ此通
リニスレハ何事ニテモコトヲ大切ニシ我身ニ実ニスル故正面ニイト
ハイハレサレ共仁リノ中ニアリ禄在其中ノ意ニテ仁ノ中ニコモルト云
フニ集注云心不外馳而所存自熟トコノ旨ハ仁ヲ心ノ徳
トスル故博学而篤志云々ハ心外ヘソレスシテ存スル所ノ徳
自ラ明カニト云フニ又程説云近思者以類而推トコノ旨
大全小注ニ朱子ノ説詳ニ手近キ所ヨリ推及ス可ハ遠大
ノ仁ニナルト云フ格物窮理ノ説ニテ段々ニ至ラルニト云
フ階級(ナリ)ヲトビコヘラレヌヲイフナリ

大徳不踰閑

コノ章ノ旨ハ孟子ノ大人言不必信行不必果ノ意ニテ言行
ノ信果ナトノコトキ小徳ニ所ハ時ニヨリテ出入ナケレハ却テ大

徒ヲ害スルトイフニテ、言ハ二斁アルニアラス、集注、吴氏曰、此章之言不能無斁ト斁トハ出入ノ処シサストミヘタリ、一定堅執ニアラサレハ、徒ヲ成シ難シ、然ルニ出入而可トイヘハアシリ心得ル寸ハ、瑣細ナルコトハ大ヤリニシテモ苦シカラストイヘルトミルナリ

子夏之門人

集注ニテハ此章ノ疑ヲ子游大学小学ノ別アルコトヲシラスシテカノ疑アトミルヘシ、古義ノ旨ハ子夏門人小子ニ洒掃応對ノ事ヲ教テ道徒仁義ノ薀ハカリ(サル)ヲストミル君子(之道)孰先傳焉孰後倦焉トイフニテ類固有別矣トイハ草ノ大ヲ学ノ薀奥ニタトヘ草ノ小ヲ洒掃応對ニ譬ノ馮厚斎ノ説ニ小ヨリ収々ニスンテ大ニイタルヲイフ、合セミルヘシ古義ノ旨ハ書経ノ賁如草木ト同シテニテ君子ノ道ノ明白ニテ隠逮ナキヲイフ○洒掃応對程子ノ説ニ云(下)聖人之道(又曰)更無精粗従洒掃應對與精義入神貫通只一理雖洒掃応對只看所以然如何(上)又曰洒掃応對便是形而上者理無大小故也故君子只在謹獨(又曰)凡物有本末不可分本末為両段事洒掃応對是其然必有所以然又曰自洒掃應對

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187　　ガラス使用

上便可到聖人事ト、コノ釋ハ事理ヲ以テイフトハ事ト
掃ノ一ナリ、ソノ理ノ然ルユヘンノ所ヲ理トイフ、事ニハ大小精粗
ノ違アレドモ、ソノ理ハ洒掃(應對)モ精義入神モ同シテ、古義ノ旨
ハ固ヨリ事理大小ノ内ケニアラズ、ソノ人ノオヲ見合セテ
ヲシヘヲ施スコト、遠大ヲカリスコトアルニアラス○孰先傳焉孰
後倦焉ト、程子曰君子教人有序、先傳以小者近者而
後教以大者遠者、非先傳以近小而後不教以遠大也
トコノ旨ニテハ、孰先傳焉孰後倦焉トイフハ、君子ノ人ヲ教ル
序アリテ、先ツホキナルモノ近キモノヲ傳ヘソノ後教ルニ遠大ヲ
以テス(ナリ)洒掃ハカリヲ傳テ遠大ヲ傳ヘサルニハアラス、古義ノ旨ハ
此ニ異ナリ、孰先傳焉孰後倦焉トハ、何ヲ先ニ教ヘ何ヲアトニ教
ルト云次第ハナキコトヲ、ソノ先ノ人オヲ見ハカリテ、ナニヤラ
ナリヒ、教ヲ施スト云コトニ、集注ノ旨トハ各別異ナリ、コノ弁標注
并ニ遺書ニ詳ナリ、考ヘミルヘシ

仕而優則学

此章ハ子ノカニ仕ルヿ寸ハ、学ストイヘヒ、即学ト同シ(ヲヨコクス)ヿヲ云ヿ、仕学一節ノヿヲ(ヲイフ)ヿヲ猶徳
ハ不仕トイヘヒ、即仕ルト同シヿヲヿトヲ云ヿ、仕学ヲ(ヲヨリスル)行ト学問ト一致ルト同シ趣ヲ、集注云仕與学理同而事異、

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187　ガラス使用

故當其事者必先有以盡其事而後可及其餘然仕而
學則所以資其仕者益深學而仕則所以驗其學者益
廣ト云コノ意ハ事理ノ二ツニ分テ學ヲ云ヒ仕ルト云ハ事ニソノ理ニ至
リテハ仕モ學モ同シ事ト仕ヘハ仕ヲヲモテソノ餘カヲ學ニ及シ學
ヘハ學ヲヲモテソノ餘カヲ仕ニ及ス仕テ學ヘハ學カ仕ノタスケト
ナリ學テ仕ヘハ其學ヲ用ヒスト集注ノ旨ハ事理ニトキ仕ト學ト
事ノ上ニテ二節ニ説ノナリ

裒致乎哀而止

此章ハ當時人皆礼文ニ流テ實ノナキ故ソレヲ教導ク為ニ
如此云ク セラルヽ ナリ本ヲ重シスル教ニ實ハカリニテ礼ヲ廃スルト云
ニハアラス集注云而止二字ニ微有過於高遠而簡畧細
微之弊學者詳之トコノ意ハ喪ハ哀ヲ尽ス一ニソノコトナリ
ハ礼文ハ一向ニ用ヒストニモノニイフニ落ル危スレハ人皆礼ヲ廃
スルトニ弊アルトニルナリ

吾友張也　堂ニ乎張也

コノ二章古義ハ合テ一章トスイヘル人ハカレモ同人ヲ許スル同意
故ニ集注古注ニ從ヒ分テ二章トス此ハ事ハ同シケレモイヘル人カ
ル故ニ古義此篇凡二十四章ニ集注ハ二十五章ニ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187　　ガラス使用

天之曆數

曆數ト八古義ノ旨、歳時節氣ヲ紀シ民ノ時ヲ授ル意ニテ、天子タルモノヘノ所作ニ、集注ニ八帝王相継之次第ニ於歳時氣之節之先後也トアリ、コレニテ八曆ノ順環スルカ如ク、帝位ヲ有チ玉フ運命ノ向テアルトヘ云フニ

曰予小子履

集注云、此引商書湯誥之辞、蓋湯既放桀而告諸侯也ト、湯誥ハ古文書ニテ、此処ノ証據トスヘカラス、今ノ湯誥却テ此等ノ文ニヨリテ、級集ルトヘタリ、古注ハ墨子ヲ引テ、此文ノ湯誓ニアルニヲイフ、孔氏ノ寸ニハ湯誓湯誥トモニ無之故ナリ、此ニヨリテ益ス古文ノ疑フ可キニモ可見ニシカレハ古文ニヨリテ証スヘキニ非ス、誓ハ軍ノ寸、誥ハ四方ノ諸侯ヘ布告スル詞ハニ、集注古文湯誥ニヨリテ解スル故、上六句ハ此述其初請命而伐桀之詞也ト解シ下四句ハ告諸侯之辞也ト解ス、古文ニヨリテ誥トニヨリ、右ノコトク注セラル、古義ハ古ヘ湯誓ノ文ナルヘシトイフ、故ニ直ニ文ニ従ヒ解ヲナス、桀ヲ伐フヨヲ天ヘ告ル詞ナリ

帝臣

帝臣ヲ古義ハ伊尹ノ下ナルヘシトイフ、集注ハ天下之賢人皆上帝之臣ト注ス

善人是富

集注云武王克商大賚於四海見周書武成篇此言其所富者皆善人也詩序曰賚所以錫予善人ト云ヘル故天下ノ善人カ皆富孚ニ四海ヘ恩徳ヲヒロクタレアタフル故ニ天下ノ善人多キナリ、ナルトイヘリ古義ハ周家ニ天ノタレタマヘルモノアリテ善人多キナリ、善人ヲタレタマヘルモノトスルハ集注ノ意モ違ヒ武成モ古文ニハ証トシ（本文ト又ス）ガタシ（キニアラス）

雖有周親

古義孔説ニ従フ周親ト云ハ管蔡ノ仁人ト云ハ箕子微子ノ下ノ皆周家ニカケテイフ集注云紂至親雖多不如周家之多仁人ト周ノ字ヲ至ノ字トナス周親ト云ハ紂ノ至親ト云フトコレ周書ノ泰誓ニヨリテ解スル泰誓ハ古文ニハコレニ擾テハ証擾トシカタシ孔説ハ古文以前ノ説ニテタシカナル故古義コレニ従フ

所重民食喪祭

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

集注ハ書ノ武成ニヨリテ解ス民ノ上ニオヒテ重スル所ノモノハ
食喪祭ノ三ケ事ナリト云フニ古義孔氏ノ説ニ従フテ民食
喪祭四ケ事トス

寛則得衆

集注上段ト合ノ一章ト大古義ニテハ事武王ニアツカラス且陽
貨篇ノ子張問仁ノ章ト大同小異ナル故別ニ一章トス公
ノ字集注ニテハトラルニ故別ニ説ナシ古義不取コト故詳ニ説
アリ○此次ヲ古論従政篇トス名リ摠メ二十一篇ニ玉海ニ
アル如淳ノ説ナリ

不知命無以為君子也

集注程子ノ説ヲ引テ云知命者知有命而信之也ト小注
朱子ノ説ニ曰此與五十知天命不同知天命謂知其理之
所自来此不知命是説死生壽夭貧富貴賤之命ト
五十知天命ハ理ノ命ニテ各別重キ7此章ハソノ知命
トハカハリテソノ事ヤ軽シ古義ハ五十知天命及畏天命并
ニ此章ニテ一意ニシテカハルヿナシ此書一部二十篇初学
ヲイヒ君子ヲイフ終ニ又君子ヲイヒ命ヲイフ然ハ一部ノ
大意君子タルヿヲ願フガ主意ニテ学ノ一字ニ初リテ命ヲ

国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用

19571

知ル全キコトシルヘシ

古義抄翼巻之四畢

明和戊子正月廿三日下論草稿完天明乙巳八月
五日浄書畢

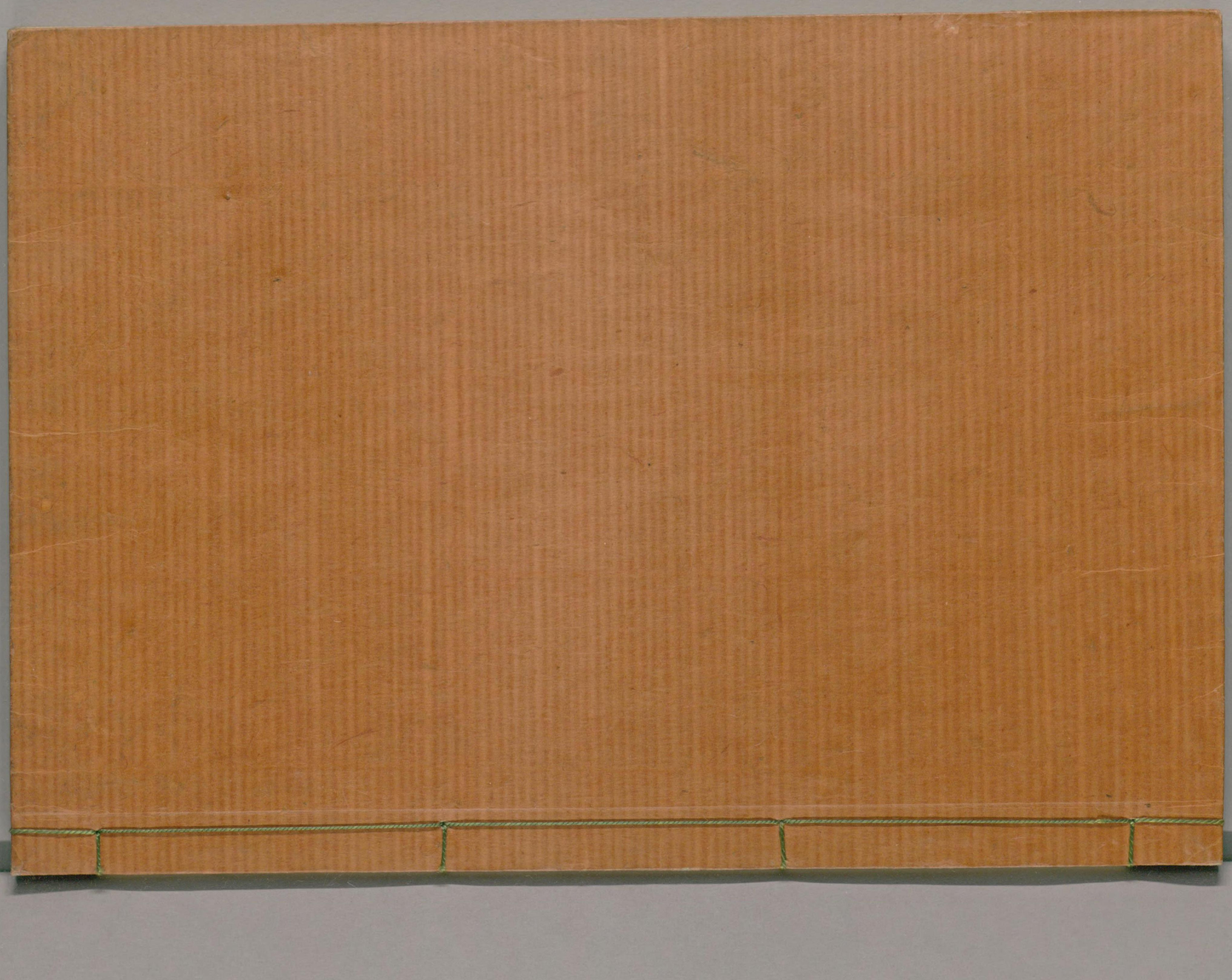
国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187

ガラス使用

863
5
187

国立国会図書館　　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『古義抄翼 7巻』 請求記号 863-187
ガラス使用